

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6597488号
(P6597488)

(45) 発行日 令和1年10月30日 (2019. 10. 30)

(24) 登録日 令和1年10月11日 (2019. 10. 11)

(51) Int.Cl. F 1
A 6 3 F 7/02 (2006.01) A 6 3 F 7/02 3 1 2 C

請求項の数 1 (全 38 頁)

(21) 出願番号	特願2016-120438 (P2016-120438)	(73) 特許権者	390031783
(22) 出願日	平成28年6月17日 (2016. 6. 17)		サミー株式会社
(65) 公開番号	特開2017-221547 (P2017-221547A)		東京都品川区西品川一丁目1番1号住友不 動産大崎ガーデンタワー
(43) 公開日	平成29年12月21日 (2017. 12. 21)	(74) 代理人	100092897
審査請求日	平成30年11月1日 (2018. 11. 1)		弁理士 大西 正悟
早期審査対象出願		(74) 代理人	100157417
			弁理士 並木 敏章
		(72) 発明者	伊藤 功次
			東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシ ャイン60 サミー株式会社内
		(72) 発明者	浅井 秀臣
			東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシ ャイン60 サミー株式会社内
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 弾球遊技機の遊技盤

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面側に遊技球を用いた遊技を行う遊技領域が設けられた弾球遊技機の遊技盤であって、

前記遊技領域の左側に設けられた遊技球が通過可能な入賞口を有する入賞装置と、
前記遊技領域における前記入賞口の左側縁部の上方に配設された第1の遊技釘と、
前記遊技領域における前記入賞口の右側縁部の上方に配設された第2の遊技釘と、
前記遊技領域における前記第1の遊技釘の左上方に配設された第3の遊技釘と、
前記遊技領域における前記第1の遊技釘の右上方かつ前記第2の遊技釘の左上方に配設
された第4の遊技釘と、

前記遊技領域における前記第2の遊技釘の右上方に配設された第5の遊技釘と、

前記遊技領域における前記第3の遊技釘の上方に配設され、水平に対し右下方に傾斜す
る方向に直線的に並ぶ複数の釘を有して構成され、遊技球が当該複数の釘の上を落下移動
するようにガイドする連釘とを備え、

前記連釘にガイドされて右下方に落下する遊技球は、前記第3の遊技釘と前記第4の遊
技釘との間、もしくは前記第4の遊技釘と前記第5の遊技釘との間を通ることが可能であ
り、前記第3の遊技釘と前記第4の遊技釘との間、もしくは前記第4の遊技釘と前記第5
の遊技釘との間を通して落下する遊技球は、前記第1の遊技釘と前記第2の遊技釘との間
、前記第1の遊技釘と前記第3の遊技釘との間、前記第2の遊技釘と前記第5の遊技釘と
の間のうちいずれかを通して構成され、

10

20

前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間、もしくは前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通して落下する遊技球は、前記第 1 の遊技釘、前記第 2 の遊技釘、前記第 3 の遊技釘、前記第 4 の遊技釘、および前記第 5 の遊技釘のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えることにより、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間を通ることが可能であり、

前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間隔は、遊技球の直径よりも大きい間隔であり、

前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間隔は、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間隔よりも大きい間隔であり、

前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間隔は、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間隔よりも大きくて、遊技球の直径に半径を加えた長さより小さい間隔であり、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を通して落下する遊技球は、前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通して落下する遊技球よりも落下軌道が安定し、

前記第 1 の遊技釘と前記第 3 の遊技釘との間隔は、遊技球が通過し得る間隔であり、

前記第 2 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間隔は、遊技球が通過し得る間隔であり、

前記遊技領域に、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間に遊技球が導かれるルートが 2 つ設けられ、

前記 2 つのルートのうちの 1 つは、前記連釘にガイドされて右下方に落下する遊技球が左下方に落下する向きを変えて前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を通るルートであり、

前記連釘にガイドされて右下方に落下する遊技球について、前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通る遊技球の比率が、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を通る遊技球の比率より高いことを特徴とする弾球遊技機の遊技盤。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、弾球遊技機の遊技盤に関する。

【背景技術】

【0002】

弾球遊技機の一つであるぱちんこ遊技機は、遊技球による遊技を行う遊技領域が設けられた遊技盤を保持する枠部材に、払出装置および各種制御基板が装着された裏機構盤が取り付けられて構成される。そして、発射機構により遊技領域の上側に打ち出した遊技球を落下させる過程で、遊技領域内に設けた各種の入賞装置に入賞させる遊技が行われる。遊技領域には、複数の釘とともに、各種の入賞装置の他、遊技性を高めるためにセンター飾り、画像表示装置等が設けられる（例えば、特許文献 1 を参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2011-72821 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、このような弾球遊技機では、入賞装置に入賞するまでの遊技球の動きが単調になりがちであった。

【0005】

本発明は、このような課題に鑑みてなされたものであり、遊技球の動きを多様にして遊技性をより高めた弾球遊技機の遊技盤を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

このような目的達成のため、本発明に係る弾球遊技機の遊技盤は、前面側に遊技球を用

10

20

30

40

50

いた遊技を行う遊技領域が設けられた弾球遊技機の遊技盤であって、前記遊技領域の左側に設けられた遊技球が通過可能な入賞口を有する入賞装置（例えば、実施形態における左側一般入賞装置 5 1 3）と、前記遊技領域における前記入賞口の左側縁部の上方に配設された第 1 の遊技釘（例えば、実施形態における第 1 の左遊技釘 5 7 1）と、前記遊技領域における前記入賞口の右側縁部の上方に配設された第 2 の遊技釘（例えば、実施形態における第 2 の左遊技釘 5 7 2）と、前記遊技領域における前記第 1 の遊技釘の左上方に配設された第 3 の遊技釘（例えば、実施形態における第 3 の左遊技釘 5 7 3）と、前記遊技領域における前記第 1 の遊技釘の右上方かつ前記第 2 の遊技釘の左上方に配設された第 4 の遊技釘（例えば、実施形態における第 4 の左遊技釘 5 7 4）と、前記遊技領域における前記第 2 の遊技釘の右上方に配設された第 5 の遊技釘（例えば、実施形態における第 5 の左遊技釘 5 7 5）と、前記遊技領域における前記第 3 の遊技釘の上方に配設され、水平に対し右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ複数の釘を有して構成され、遊技球が当該複数の釘の上を落下移動するようにガイドする連釘（例えば、実施形態における第 2 上側連釘 5 6 2）とを備えている。そして、前記連釘にガイドされて右下方に落下する遊技球は、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間、もしくは前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通ることが可能であり、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間、もしくは前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通過して落下する遊技球は、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間、前記第 1 の遊技釘と前記第 3 の遊技釘との間、前記第 2 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間のうちいずれかを通して落下するように構成され、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間、もしくは前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通過して落下する遊技球は、前記第 1 の遊技釘、前記第 2 の遊技釘、前記第 3 の遊技釘、前記第 4 の遊技釘、および前記第 5 の遊技釘のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えることにより、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間を通ることが可能である。また、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間隔は、遊技球の直径よりも大きい間隔であり、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間隔は、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間隔よりも大きい間隔であり、前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間隔は、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間隔よりも大きくて、遊技球の直径に半径を加えた長さより小さい間隔であり、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を通過して落下する遊技球は、前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通過して落下する遊技球よりも落下軌道が安定する。さらに、前記第 1 の遊技釘と前記第 3 の遊技釘との間隔は、遊技球が通過し得る間隔であり、前記第 2 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間隔は、遊技球が通過し得る間隔である。また、前記遊技領域に、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間に遊技球が導かれるルートが 2 つ設けられ、前記 2 つのルートのうちの 1 つは、前記連釘にガイドされて右下方に落下する遊技球が左下方に落下する向きを変えて前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を通るルートであり、前記連釘にガイドされて右下方に落下する遊技球について、前記第 4 の遊技釘と前記第 5 の遊技釘との間を通る遊技球の比率が、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を通る遊技球の比率より高くなっている。

【発明の効果】

【0007】

本発明によれば、遊技球の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図 1】ばちんこ遊技機からガラス枠を取り外した状態を示す正面図である。

【図 2】ガラス枠を前方から見た斜視図である。

【図 3】ばちんこ遊技機の背面図である。

【図 4】第 1 実施形態に係る遊技盤の正面図である。

【図 5】第 1 実施形態に係る遊技盤の分解斜視図である。

【図 6】センター飾りの正面図である。

【図 7】センター飾りの背面図である。

【図 8】センター飾りを前方から見た分解斜視図である。

【図 9】センター飾りを後方から見た分解斜視図である。

【図 10】センター飾りにおけるワープ通路の近傍を示す断面図である。

【図 11】(a) は第 1 飾り部材と第 2 飾り部材との連結部分を示す拡大図であり、(b) は第 2 飾り部材と第 3 飾り部材との連結部分を示す拡大図であり、(c) は第 1 飾り部材と第 3 飾り部材との連結部分を示す拡大図である。

【図 12】第 1 入賞ユニットの斜視図である。

【図 13】第 1 入賞ユニットを前方から見た分解斜視図である。

【図 14】第 1 入賞ユニットを後方から見た分解斜視図である。

【図 15】第 1 入賞ユニットの平面断面図である。

10

【図 16】(a) は第 1 入賞ユニットにおける左側一般入賞装置の側断面図であり、(b) は第 1 入賞ユニットにおける第 1 始動入賞装置の側断面図である。

【図 17】(a) は第 1 入賞ユニットにおける第 1 排出通路の正断面図であり、(b) は第 1 入賞ユニットにおける第 2 排出通路の正断面図である。

【図 18】(a) は第 1 入賞ユニットにおける第 1 出口通路の側断面図であり、(b) は第 1 入賞ユニットにおける第 2 出口通路の側断面図である。

【図 19】第 1 実施形態に係る遊技盤における遊技領域の下部左側を示す正面拡大図である。

【図 20】第 1 実施形態に係る遊技盤に設けられた釘の一例を示す平面図である。

【図 21】第 2 実施形態に係る遊技盤の正面図である。

20

【図 22】第 2 実施形態に係る遊技盤における遊技領域の下部左側を示す正面拡大図である。

【図 23】第 2 実施形態に係る遊技盤における遊技領域の下部右側を示す正面拡大図である。

【図 24】突出面構成部材の正面図である。

【図 25】(a) は第 2 実施形態に係る遊技盤に設けられた釘の一例を示す平面図であり、(b) は第 2 実施形態に係る遊技盤に設けられた突出面構成部材を模式的に示す平面図である。

【発明を実施するための形態】

【0009】

30

以下、本発明の好ましい実施形態について図面を参照して説明する。第 1 実施形態に係る遊技盤を備えた弾球遊技機としてぱちんこ遊技機 P M を図 1 ~ 図 3 に示しており、まず、この図を参照してぱちんこ遊技機 P M の全体構成について説明する。本実施形態において、図 2 の各矢印で示す方向をそれぞれ、上下方向、前後方向、左右方向として説明する。

【0010】

[ぱちんこ遊技機の全体構成]

始めに、ぱちんこ遊技機 P M の前面側の基本構造を説明する。ぱちんこ遊技機 P M は、図 1 に示すように、外郭方形枠サイズに構成された縦向きの固定保持枠をなす外枠 1 と、これに合わせた方形枠サイズに構成されて開閉搭載枠をなす前枠 2 とを主体に構成される。前枠 2 は、外枠 1 および前枠 2 の左側縁部に配設された上下のヒンジ機構 3 a , 3 b により、外枠 1 の前側開口部に対して横開き開閉および着脱が可能に取り付けられる。また、前枠 2 は、右側縁部に設けられたダブル錠と称される施錠装置 4 を利用して、常には外枠 1 と係合連結された閉鎖状態に保持される。

40

【0011】

前枠 2 の前面側には、図 2 に示すように、この前枠 2 の上部前面域に合わせた方形のガラス枠 5 が上下のヒンジ機構 3 a , 3 b を利用して横開き開閉および着脱可能に組み付けられる。ガラス枠 5 は、上述の施錠装置 4 を利用して、常には前枠 2 の前面を覆う閉鎖状態に保持される。図 1 に示すように、前枠 2 の上側に設けられた収容枠 2 a に遊技盤 100 が着脱可能にセット保持され、常には閉鎖保持されるガラス枠 5 の複層ガラス 5 a を

50

通して、遊技盤 100 の前面に設けられた遊技領域 PA1 を視認可能に臨ませるようになっている。なお、図 1 において遊技領域 PA1 の詳細な記載を省略している。

【0012】

図 2 に示すように、ガラス枠 5 の下部前面側には、遊技球を貯留する上下の球皿（上球皿 6a および下球皿 6b）が設けられる。ガラス枠 5 の上部前面側には、発光ダイオード（LED）やランプ等の電飾装置 7 や、遊技の展開状態に応じて効果音を発生させるスピーカ 8 が設けられる。

【0013】

図 1 に示すように、前枠 2 の右下部には、遊技球の発射操作を行う発射ハンドル 9 が設けられる。前枠 2 の下部におけるガラス枠 5 の後側の領域（以降、遊技補助盤 20 と称する）には、上球皿 6a に貯留された遊技球を 1 球ずつ送り出す整流器 21、整流器 21 から送り出された遊技球を遊技領域 PA1 に向けて打ち出す発射機構 22、発射機構 22 の作動を制御する発射制御基板 23 等が設けられる。

【0014】

続いて、ぱちんこ遊技機 PM の後面側の基本構造を説明する。図 3 に示すように、前枠 2 の後面側には、中央に前後連通する窓口を有して前枠 2 よりも幾分小型の矩形枠状に形成された裏機構盤 30 が取り付けられている。裏機構盤 30 の各部には、遊技施設側から供給される遊技球を貯留するタンク部材 33、タンク部材 33 から供給される遊技球を流下させる樋部材 34、樋部材 34 を流下する遊技球を払い出す賞球払出ユニット 35、賞球払出ユニット 35 から払い出された遊技球を上球皿 6a もしくは下球皿 6b に流下させる裏側通路部材 36 等が設けられている。また、裏機構盤 30 には、遊技盤 100 の後側を全体的に覆う遊技盤カバー 39 が取り付けられる。

【0015】

遊技盤 100 の後側には、ぱちんこ遊技機 PM の作動を統括的に制御する主制御基板（図示せず）や、遊技展開に応じた画像表示、効果照明、効果音等の演出全般の制御を行う副制御基板（図示せず）等が取り付けられている。これに対して、裏機構盤 30 の後側には、遊技球の払い出しに関する制御を行う払出制御基板 42 や、遊技施設側から受電して各種制御装置や電気・電子部品に電力を供給する電源基板 43 等が取り付けられている。これらの制御装置とぱちんこ遊技機 PM 各部の電気・電子部品とがハーネス（コネクタケーブル）で接続されて、ぱちんこ遊技機 PM が作動可能に構成されている。

【0016】

ぱちんこ遊技機 PM は、外枠 1 が遊技施設の遊技島（設置枠台）に固定設置され、前枠 2、ガラス枠 5 等が閉鎖施錠された状態で遊技に供され、上球皿 6a に遊技球を貯留させて発射ハンドル 9 を回動操作することにより遊技が開始される。発射ハンドル 9 が回動操作されると、上球皿 6a に貯留された遊技球が、整流器 21 によって 1 球ずつ発射機構 22 に送り出され、発射機構 22 により遊技領域 PA1 に打ち出されて、以降パチンコゲームが展開される。

【0017】

[遊技盤の第 1 実施形態]

次に、第 1 実施形態に係る遊技盤 100 の概要構成について、図 4 ~ 図 5 を参照して説明する。第 1 実施形態に係る遊技盤 100 は、図 4 に示すように、板状のベース部材 101 と、ベース部材 101 の前面側に取り付けられた内レール部材 106 および外レール部材 107 とを有し、ベース部材 101 の前面に、左側の領域が内レール部材 106 に囲まれるとともに、上側および右側の領域が外レール部材 107 に囲まれた遊技領域 PA1 が形成される。この遊技領域 PA1 には、複数の釘 111 や風車 112 とともに、遊技領域 PA1 の中央部近傍に配置されたセンター飾り 200 と、遊技領域 PA1 の下部左側に配置された 3 つの左側一般入賞装置 113、113、... と、遊技領域 PA1 の下部中央に配置された第 1 始動入賞装置 114 と、遊技領域 PA1 の下部右側に配置された、第 2 始動入賞装置 115、大入賞装置 116、右側一般入賞装置 117、および補助遊技始動ゲート 118 と、遊技領域 PA1 の下端に配置されたアウト口 119 等が設けられる。

【 0 0 1 8 】

ベース部材 1 0 1 は、図 5 に示すように、透明の樹脂材料を用いて板状に形成される。ベース部材 1 0 1 の略中央部にセンター飾り取付穴 1 0 2 が開口形成され、このセンター飾り取付穴 1 0 2 にセンター飾り 2 0 0 が取り付けられる。ベース部材 1 0 1 の下部左側から中央に亘り第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 が開口形成され、ベース部材 1 0 1 の下部右側に第 2 入賞装置取付穴 1 0 4 が開口形成される。第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 には、3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... および第 1 始動入賞装置 1 1 4 等がユニット化された第 1 入賞ユニット 3 0 0 が取り付けられる。第 2 入賞装置取付穴 1 0 4 には、第 2 始動入賞装置 1 1 5、大入賞装置 1 1 6、右側一般入賞装置 1 1 7、および補助遊技始動ゲート 1 1 8 等がユニット化された第 2 入賞ユニット 1 3 0 が取り付けられる。

10

【 0 0 1 9 】

なお、ベース部材 1 0 1 における第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 の下端部と繋がった部分に、アウト口 1 1 9 が形成される。また、ベース部材 1 0 1 の後面側に、画像表示装置 1 2 1 および上下の可動演出装置 1 2 6 , 1 2 7 等が取り付けられ、図 4 に示すように、センター飾り 2 0 0 の開口部分を通じて、画像表示装置 1 2 1 の画面および上下の可動演出装置 1 2 6 , 1 2 7 の前面側を前方から視認可能に構成されている。

【 0 0 2 0 】

図 4 に示すように、外レール部材 1 0 7 は、下側が開いた円弧状に形成されており、発射機構 2 2 から発射された遊技球を遊技領域 P A 1 へ導くようになっている。内レール部材 1 0 6 は、右側が開いた円弧状に形成されており、ベース部材 1 0 1 の前面において外レール部材 1 0 7 に対し右方に所定間隔を空けるように配設される。これにより、内レール部材 1 0 6 と外レール部材 1 0 7 との間に、発射機構 2 2 が設けられる側から遊技領域 P A 1 の上部へと繋がる発射通路 1 0 9 が形成されるようになっている。

20

【 0 0 2 1 】

〔 センター飾りの構成 〕

次に、センター飾り 2 0 0 について、図 6 ~ 図 1 1 を参照して説明する。センター飾り 2 0 0 は、図 6 ~ 図 9 に示すように、第 1 飾り部材 2 0 1 と、第 2 飾り部材 2 1 1 と、第 3 飾り部材 2 2 1 と、装飾カバー部材 2 3 1 と、第 1 ワープ通路部材 2 4 1 と、第 2 ワープ通路部材 2 4 6 と、ステージ部材 2 5 1 とを有して構成される。センター飾り 2 0 0 は、第 1 飾り部材 2 0 1 と、第 2 飾り部材 2 1 1 と、第 3 飾り部材 2 2 1 とを連結させることにより、内側が開口した円形枠状に形成される。

30

【 0 0 2 2 】

第 1 飾り部材 2 0 1 は、図 8 ~ 図 9 に示すように、樹脂材料を用いて円弧状に形成され、センター飾り 2 0 0 の左側部分および上側部分を構成する。第 1 飾り部材 2 0 1 の左下端部に、第 3 飾り部材 2 2 1 の左側第 3 結合部 2 2 2 と結合可能な左側第 1 結合部 2 0 2 が形成される。第 1 飾り部材 2 0 1 の右下端部に、第 2 飾り部材 2 1 1 の上側第 2 結合部 2 1 2 と結合可能な右側第 1 結合部 2 0 3 が形成される。

【 0 0 2 3 】

第 2 飾り部材 2 1 1 は、樹脂材料を用いて円弧状に形成され、センター飾り 2 0 0 の右側部分を構成する。第 2 飾り部材 2 1 1 の上端部に、第 1 飾り部材 2 0 1 の右側第 1 結合部 2 0 3 と結合可能な上側第 2 結合部 2 1 2 が形成される。第 2 飾り部材 2 1 1 の下端部に、第 3 飾り部材 2 2 1 の右側第 3 結合部 2 2 3 と結合可能な下側第 2 結合部 2 1 3 が形成される。

40

【 0 0 2 4 】

第 3 飾り部材 2 2 1 は、樹脂材料を用いて円弧状に形成され、センター飾り 2 0 0 の下側部分を構成する。第 3 飾り部材 2 2 1 の左上端部に、第 1 飾り部材 2 0 1 の左側第 1 結合部 2 0 2 と結合可能な左側第 3 結合部 2 2 2 が形成される。第 3 飾り部材 2 2 1 の右上端部に、第 2 飾り部材 2 1 1 の下側第 2 結合部 2 1 3 と結合可能な右側第 3 結合部 2 2 3 が形成される。

【 0 0 2 5 】

50

第3飾り部材221の中央部後面側に、左右方向に延びる平面状のステージ取付部224が形成される。ステージ取付部224には、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いてステージ部材251の前部が取り付け固定される。また、ステージ取付部224の中央上部に、ステージ部材251の案内溝部253の形状に合わせて切欠き部228が形成される。第3飾り部材221の左上部前面側に、平面状の第1ワープ通路取付部225が形成される。第1ワープ通路取付部225には、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いて第1ワープ通路部材241が取り付け固定される。第3飾り部材221の左上部後面側に、水平に対し右下方に傾斜して延びるリブ状の第2ワープ通路取付部226が形成される。第2ワープ通路取付部226には、第1ワープ通路部材241と連結される第2ワープ通路部材246が取り付け支持される。また、第3飾り部材221の左上部後面側に、小枠状の第1センサ取付部227が形成される。第1センサ取付部227には、第1中央磁気センサ261が取り付け保持される。第1中央磁気センサ261は、第1ワープ通路部材241の近傍で生じた不正な磁気を検知可能に構成される。

10

【0026】

装飾カバー部材231は、樹脂材料を用いて屈曲した板状に形成され、第3飾り部材221の後側を覆う後カバー部232と、第3飾り部材221の上方を覆う上カバー部234とを有して構成される。後カバー部232は、第3飾り部材221の外周形状に合わせた板状に形成され、ネジ等の結合部材（図示せず）を用いて第3飾り部材221の後側に重ねて結合される。上カバー部234は、後カバー部232の上端部から前方に延びる庇状に形成され、第3飾り部材221およびステージ部材251の上方を覆うようになっている。後カバー部232の下部に、小枠状の第2磁気センサ取付部233が形成される。第2磁気センサ取付部233には、第2中央磁気センサ262が取り付け保持される。第2中央磁気センサ262は、ステージ部材251の近傍で生じた不正な磁気を検知可能に構成される。

20

【0027】

第1ワープ通路部材241は、樹脂材料を用いて右下方に延びる管状に形成され、第3飾り部材221の第1ワープ通路取付部225に取り付け固定される。第1ワープ通路部材241の内側には、遊技球が通過可能な第1ワープ通路242が形成される（図10を参照）。第1ワープ通路242の上流端部は、左斜め上方を向いて開口形成され、遊技領域PA1の左側を落下する遊技球が通過できるようになっている。第1ワープ通路242の下流端部は、後方に折れ曲がるように形成され、第2ワープ通路部材246の第2ワープ通路247と繋がるようになっている。

30

【0028】

第2ワープ通路部材246は、樹脂材料を用いて右下方に延びる管状に形成され、装飾カバー部材231の後カバー部232と第3飾り部材221とに挟持された状態で、第3飾り部材221の第2ワープ通路取付部226に取り付け支持される。第2ワープ通路部材246の内側には、遊技球が通過可能な第2ワープ通路247が形成される。第2ワープ通路247の上流端部は、前方に折れ曲がるように形成され、第1ワープ通路242の下流端部と繋がるようになっている。第2ワープ通路247の下流端部は、ステージ部材251のステージ部252に向けて開口形成され、第1ワープ通路242および第2ワープ通路247を通過した遊技球がステージ部252の上に落下するようになっている。

40

【0029】

ステージ部材251は、樹脂材料を用いて屈曲した板状に形成され、第3飾り部材221のステージ取付部224に取り付け固定される。ステージ部材251の上部には、第1ワープ通路242および第2ワープ通路247を通過した遊技球を左右方向に転がり移動させてから前方に落下させることが可能なステージ部252が形成される。ステージ部252の中央部前側には、ステージ部252の中央部で停止した遊技球が第1始動入賞装置114の第1始動入賞口114aに向けて落下するように案内する案内溝部253が形成される。なお、ステージ部252の中央部は、ステージ部252の左右の中間部よりも山形状に高くなるように形成される。そのため、ステージ部252を左右方向に転がり移動

50

した遊技球がステージ部 2 5 2 の中央部ではなく左右の中間部で停止した場合、当該遊技球は停止した左方もしくは右方の中間部より第 1 始動入賞装置 1 1 4 の左方もしくは右方に向けて落下するようになっている。このとき、ステージ部 2 5 2 の左方の中間部から落下した遊技球は、詳細は後述するが第 4 上側連釘 1 6 4 まで落下すると、第 4 上側連釘 1 6 4 の上を右下方に落下移動して第 1 始動入賞装置 1 1 4 の第 1 始動入賞口 1 1 4 a を通過し得るようになっている（図 1 9 を参照）。

【 0 0 3 0 】

前述したように、第 1 飾り部材 2 0 1 と、第 2 飾り部材 2 1 1 と、第 3 飾り部材 2 2 1 とが連結してセンター飾り 2 0 0 が形成される。第 1 飾り部材 2 0 1 の右側第 1 結合部 2 0 3 と第 2 飾り部材 2 1 1 の上側第 2 結合部 2 1 2 とが結合した状態で、第 1 飾り部材 2 0 1 と第 2 飾り部材 2 1 1 とが連結される。このとき、図 1 1 (a) に示すように、上側第 2 結合部 2 1 2 の前面側に重なって右側第 1 結合部 2 0 3 が結合されるようになっている。また、第 2 飾り部材 2 1 1 の下側第 2 結合部 2 1 3 と第 3 飾り部材 2 2 1 の右側第 3 結合部 2 2 3 とが結合した状態で、第 2 飾り部材 2 1 1 と第 3 飾り部材 2 2 1 とが連結される。このとき、図 1 1 (b) に示すように、右側第 3 結合部 2 2 3 の前面側に重なって下側第 2 結合部 2 1 3 が結合されるようになっている。また、第 1 飾り部材 2 0 1 の左側第 1 結合部 2 0 2 と第 3 飾り部材 2 2 1 の左側第 3 結合部 2 2 2 とが結合した状態で、第 1 飾り部材 2 0 1 と第 3 飾り部材 2 2 1 とが連結される。このとき、図 1 1 (c) に示すように、左側第 3 結合部 2 2 2 の前面側に重なって左側第 1 結合部 2 0 2 が結合されるようになっている。

【 0 0 3 1 】

第 1 飾り部材 2 0 1 と、第 2 飾り部材 2 1 1 と、第 3 飾り部材 2 2 1 とを連結させるには、まず、第 3 飾り部材 2 2 1 を作業台等（図示せず）の上に（前面を向けて）載置した状態で、第 3 飾り部材 2 2 1 の右側第 3 結合部 2 2 3 の前面側に第 2 飾り部材 2 1 1 の下側第 2 結合部 2 1 3 を重ねるように結合させて、第 2 飾り部材 2 1 1 と第 3 飾り部材 2 2 1 とを連結させる。そして、第 2 飾り部材 2 1 1 の上側第 2 結合部 2 1 2 の前面側に第 1 飾り部材 2 0 1 の右側第 1 結合部 2 0 3 を重ねるように結合させて、第 1 飾り部材 2 0 1 と第 2 飾り部材 2 1 1 とを連結させるとともに、第 3 飾り部材 2 2 1 の左側第 3 結合部 2 2 2 の前面側に第 1 飾り部材 2 0 1 の左側第 1 結合部 2 0 2 を重ねるように結合させて、第 1 飾り部材 2 0 1 と第 3 飾り部材 2 2 1 とを連結させる。このように、第 3 飾り部材 2 2 1、第 2 飾り部材 2 1 1、第 1 飾り部材 2 0 1 の順で連結させる場合のみ、第 1 飾り部材 2 0 1 と、第 2 飾り部材 2 1 1 と、第 3 飾り部材 2 2 1 とを正しい向きで連結させることができるため、製造等において、センター飾り 2 0 0 を容易で正確に組み立てることが可能になる。

【 0 0 3 2 】

一般的に、組み立ての際に後に組み付けられる部品ほど、加工誤差等の累積により位置精度が低下する傾向がある。ステージ部材 2 5 1 が取り付けられる第 3 飾り部材 2 2 1 は、第 1 始動入賞装置 1 1 4 への入球（入賞）に最も大きく関与する部品であり、位置精度の低下を防止するため、センター飾り 2 0 0 の組み立ての際に最初に組み付けられる。また、第 2 飾り部材 2 1 1 は、第 2 始動入賞装置 1 1 5 や大入賞装置 1 1 6 等の出玉に影響のある遊技部品の近くに配置されており、位置精度の低下を防止するため、センター飾り 2 0 0 の組み立ての際に二番目に（第 1 飾り部材 2 0 1 よりも先に）組み付けられる。

【 0 0 3 3 】

なお、第 1 飾り部材 2 0 1 の右側第 1 結合部 2 0 3 と第 2 飾り部材 2 1 1 の上側第 2 結合部 2 1 2 とは、入れ子式に結合されるため、結合部分の周辺が薄肉となり破損しやすい。そのため、遊技領域 P A 1 の右上部において、第 1 飾り部材 2 0 1 の右側第 1 結合部 2 0 3 と第 2 飾り部材 2 1 1 の上側第 2 結合部 2 1 2 との結合部分の近傍に、釘または風車等の遊技部材が設けられるようにしてもよい。このようにすれば、遊技領域 P A 1 の右上部を落下する遊技球が、釘または風車等の遊技部材によって、第 1 飾り部材 2 0 1 の右側第 1 結合部 2 0 3 と第 2 飾り部材 2 1 1 の上側第 2 結合部 2 1 2 との結合部分に直接的に

当接し難くなるため、センター飾り 2 0 0 が破損するのを防止することができる。

【 0 0 3 4 】

[第 1 入賞ユニットの構成]

次に、第 1 入賞ユニット 3 0 0 について、図 1 2 ~ 図 1 8 を参照して説明する。第 1 入賞ユニット 3 0 0 は、図 1 2 ~ 図 1 4 に示すように、3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... と、第 1 始動入賞装置 1 1 4 と、ガイド部材 3 0 1 と、ベースプレート 3 1 1 と、第 1 排出通路部材 3 2 1 と、第 1 通路カバー部材 3 3 1 と、第 2 排出通路部材 3 4 1 と、第 2 通路カバー部材 3 5 1 とを有して構成される。

【 0 0 3 5 】

3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... は、ベースプレート 3 1 1 に形成された 3 つの一般入賞装置取付部 3 1 4 , 3 1 4 , ... に、左右方向に並ぶように取り付けられる。左側一般入賞装置 1 1 3 は、樹脂材料を用いて、上部および後部が開口して遊技球が入球可能な箱状に形成される。左側一般入賞装置 1 1 3 の上部に、遊技領域 P A 1 の下部左側を落下する遊技球が通過可能な左側一般入賞口 1 1 3 a が形成される。

【 0 0 3 6 】

第 1 始動入賞装置 1 1 4 は、ベースプレート 3 1 1 に形成された始動入賞装置取付部 3 1 6 に、3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... の右方に並んで取り付けられる。第 1 始動入賞装置 1 1 4 は、透明もしくは半透明の樹脂材料を用いて、上部および後部が開口して遊技球が入球可能な箱状に形成される。第 1 始動入賞装置 1 1 4 の上部に、遊技領域 P A 1 の下部中央を落下する遊技球が通過可能な第 1 始動入賞口 1 1 4 a が形成される。

【 0 0 3 7 】

ガイド部材 3 0 1 は、ベースプレート 3 1 1 に形成されたガイド部材取付部 3 1 2 に、3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... の左方に並んで取り付けられる。これにより、ガイド部材 3 0 1 は、遊技領域 P A 1 の下部左側における風車 1 1 2 の下方に配置される。ガイド部材 3 0 1 は、透明もしくは半透明の樹脂材料を用いて、後部が開口した箱状に形成される。ガイド部材 3 0 1 の上部に、水平に対し右下方に傾斜した平面状の傾斜面 3 0 2 が形成される。

【 0 0 3 8 】

ベースプレート 3 1 1 は、図 1 3 ~ 図 1 4 に示すように、樹脂材料を用いて板状に形成される。ベースプレート 3 1 1 は、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いて、ベース部材 1 0 1 の第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 を覆うように、ベース部材 1 0 1 の前面側に取り付け固定される。ベースプレート 3 1 1 の前面左側に、枠面状のガイド部材取付部 3 1 2 が形成される。ガイド部材取付部 3 1 2 には、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いてガイド部材 3 0 1 が取り付け固定される。ベースプレート 3 1 1 の前面左側におけるガイド部材取付部 3 1 2 の内周側に、爪状のランプ保持部 3 1 3 が形成される。ランプ保持部 3 1 3 には、保留球の数を表示可能な表示ランプ 3 6 6 が取り付け保持される。表示ランプ 3 6 6 は、ガイド部材 3 0 1 に覆われるようになっている。

【 0 0 3 9 】

ベースプレート 3 1 1 の前面中間部に、3 つの一般入賞装置取付部 3 1 4 が左右方向に並んで形成される。3 つの一般入賞装置取付部 3 1 4 には、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いて、3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... が取り付け固定される。ベースプレート 3 1 1 における一般入賞装置取付部 3 1 4 の上部に、U 字形に切り欠かれた 3 つの一般入賞球通過口 3 1 5 , 3 1 5 , ... が形成される。一般入賞球通過口 3 1 5 は、左側一般入賞装置 1 1 3 の後部開口部と位置整合して形成され、左側一般入賞口 1 1 3 a を通って左側一般入賞装置 1 1 3 に入球した遊技球が後方の一般入賞球通過口 3 1 5 を通過して、第 1 排出通路部材 3 2 1 に形成された第 1 球排出通路 3 2 2 に落入するようになっている（図 1 5 および図 1 6 (a) を参照）。

【 0 0 4 0 】

ベースプレート 3 1 1 の前面右側に、枠面状の始動入賞装置取付部 3 1 6 が形成される

。始動入賞装置取付部 3 1 6 には、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いて、第 1 始動入賞装置 1 1 4 が取り付け固定される。ベースプレート 3 1 1 における始動入賞装置取付部 3 1 6 の上部に、U 字形に切り欠かれた始動入賞球通過口 3 1 7 が形成される。始動入賞球通過口 3 1 7 は、第 1 始動入賞装置 1 1 4 の後部開口部と位置整合して形成され、第 1 始動入賞口 1 1 4 a を通って第 1 始動入賞装置 1 1 4 に入球した遊技球が後方の始動入賞球通過口 3 1 7 を通過して、第 2 排出通路部材 3 4 1 に形成された第 2 球排出通路 3 4 2 に落入するようになっている（図 1 6（b）を参照）。

【 0 0 4 1 】

ベースプレート 3 1 1 における始動入賞装置取付部 3 1 6 の内周側に、リブ状のランプ取付部 3 1 8 が形成される。ランプ取付部 3 1 8 には、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いて、第 1 始動入賞装置 1 1 4 の発光装飾を行うための装飾ランプ基板 3 6 1 が取り付け固定される。装飾ランプ基板 3 6 1 は、第 1 始動入賞装置 1 1 4 に覆われるようになっている（図 1 5 を参照）。ベースプレート 3 1 1 の後面左側に、小棒状の第 1 磁気センサ取付部 3 1 9 が形成される。第 1 磁気センサ取付部 3 1 9 には、第 1 下部磁気センサ 3 7 6 が取り付け保持される。第 1 下部磁気センサ 3 7 6 は、ガイド部材 3 0 1 の近傍で生じた不正な磁気を検知可能に構成される。

【 0 0 4 2 】

第 1 排出通路部材 3 2 1 は、図 1 3 ~ 図 1 4 に示すように、樹脂材料を用いて右下方に延びる管状に形成され、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いて、ベースプレート 3 1 1 の後面中間部に取り付け固定される。第 1 排出通路部材 3 2 1 の内側に、遊技球が通過可能な第 1 球排出通路 3 2 2 が形成される。第 1 球排出通路 3 2 2 の上流端部は、3 つに分岐して上方を向くように開口形成され、左側一般入賞装置 1 1 3 に入球して一般入賞球通過口 3 1 5 から落下する遊技球が通過するようになっている（図 1 6（a）および図 1 7（a）を参照）。第 1 球排出通路 3 2 2 の下流端部は、後方に折れ曲がるように形成され、第 1 通路カバー部材 3 3 1 の第 1 出口通路 3 3 2 と繋がるようになっている（図 1 8（a）を参照）。

【 0 0 4 3 】

第 1 排出通路部材 3 2 1 の下面部右側に、小棒状の一般入賞センサ取付部 3 2 3 が形成される。一般入賞センサ取付部 3 2 3 には、左側一般入賞センサ 1 1 3 s の本体部（基端側）が取り付け保持される（図 1 7（a）および図 1 8（a）を参照）。第 1 排出通路部材 3 2 1 の下面部中央に、小棒状の第 2 磁気センサ取付部 3 2 5 が形成される。第 2 磁気センサ取付部 3 2 5 には、第 2 下部磁気センサ 3 7 7 が取り付け保持される（図 1 6（a）および図 1 7（a）を参照）。第 2 下部磁気センサ 3 7 7 は、左側一般入賞装置 1 1 3 の近傍で生じた不正な磁気を検知可能に構成される。第 1 排出通路部材 3 2 1 の後面部左側に、小棒状の電波センサ取付部 3 2 4 が形成される。電波センサ取付部 3 2 4 には、電波センサ 3 7 1 が取り付けられる。電波センサ 3 7 1 は、左側一般入賞装置 1 1 3 の近傍で生じた不正な電波を検知可能に構成される。

【 0 0 4 4 】

第 1 通路カバー部材 3 3 1 は、図 1 3 ~ 図 1 4 に示すように、樹脂材料を用いて板状に形成され、ネジ等の結合部材（図示せず）を用いて、第 1 排出通路部材 3 2 1 の後側に重ねて結合される。第 1 通路カバー部材 3 3 1 の左側に、第 1 排出通路部材 3 2 1 の電波センサ取付部 3 2 4 に取り付けられた電波センサ 3 7 1 を覆う電波センサカバー部 3 3 4 が形成される。なお、第 1 通路カバー部材 3 3 1 の右端部は、内側に第 1 出口通路 3 3 2 を有して上下方向に延びる管状に形成される。図 1 8（a）に示すように、第 1 出口通路 3 3 2 の上流端部は、前方に折れ曲がるように形成され、第 1 球排出通路 3 2 2 の下流端部と繋がるようになっている。第 1 出口通路 3 3 2 の下流端部は、下方を向いて開口形成され、第 1 球排出通路 3 2 2 および第 1 出口通路 3 3 2 を通過した遊技球が遊技盤 1 0 0 の後方に排出されて落下するようになっている。第 1 通路カバー部材 3 3 1 における第 1 出口通路 3 3 2 の下流端部近傍に、溝状の一般入賞センサ保持部 3 3 3 が形成される。一般入賞センサ保持部 3 3 3 には、左側一般入賞センサ 1 1 3 s の検出部（先端側）が取り付け

10

20

30

40

50

け保持される。左側一般入賞センサ 1 1 3 s は、3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... のうちいずれか一つに入球（入賞）して第 1 出口通路 3 3 2 を通過する遊技球を検出可能に構成される。

【 0 0 4 5 】

第 2 排出通路部材 3 4 1 は、図 1 3 ~ 図 1 4 に示すように、樹脂材料を用いて L 字形に延びる管状に形成され、ネジ等の固定部材（図示せず）を用いて、ベースプレート 3 1 1 の後面右側に取り付け固定される。第 2 排出通路部材 3 4 1 の内側に、遊技球が通過可能な第 2 球排出通路 3 4 2 が形成される。第 2 球排出通路 3 4 2 の上流端部は、上方を向いて開口形成され、第 1 始動入賞装置 1 1 4 に入球して始動入賞球通過口 3 1 7 から落下する遊技球が通過するようになっている（図 1 6（b）および図 1 7（b）を参照）。第 2 球排出通路 3 4 2 の下流端部は、後方に折れ曲がるように形成され、第 2 通路カバー部材 3 5 1 の第 2 出口通路 3 5 2 と繋がるようになっている（図 1 8（b）を参照）。 10

【 0 0 4 6 】

第 2 排出通路部材 3 4 1 の上部に、小枠状の始動入賞センサ取付部 3 4 3 が形成される。始動入賞センサ取付部 3 4 3 には、第 1 始動入賞センサ 1 1 4 s が取り付け保持される（図 1 6（b）および図 1 7（b）を参照）。第 1 始動入賞センサ 1 1 4 s は、第 1 始動入賞装置 1 1 4 に入球（入賞）して第 2 球排出通路 3 4 2 を通過する遊技球を検出可能に構成される。第 2 排出通路部材 3 4 1 の上部左側に、第 3 磁気センサ取付部 3 4 4 が形成される。第 3 磁気センサ取付部 3 4 4 には、第 3 下部磁気センサ 3 7 8 が取り付け保持される（図 1 7（b）を参照）。第 3 下部磁気センサ 3 7 8 は、第 1 始動入賞装置 1 1 4 の近傍で生じた不正な磁気を検知可能に構成される。 20

【 0 0 4 7 】

第 2 通路カバー部材 3 5 1 は、図 1 3 ~ 図 1 4 に示すように、樹脂材料を用いて板状に形成され、ネジ等の結合部材（図示せず）を用いて、第 2 排出通路部材 3 4 1 の後側に重ねて結合される。なお、第 2 通路カバー部材 3 5 1 の右端部は、内側に第 2 出口通路 3 5 2 を有して上下方向に延びる管状に形成される。図 1 8（b）に示すように、第 2 出口通路 3 5 2 の上流端部は、前方に折れ曲がるように形成され、第 2 球排出通路 3 4 2 の下流端部と繋がるようになっている。第 2 出口通路 3 5 2 の下流端部は、下方を向いて開口形成され、第 2 球排出通路 3 4 2 および第 2 出口通路 3 5 2 を通過した遊技球が遊技盤 1 0 0 の後方に排出されて落下するようになっている。 30

【 0 0 4 8 】

以上のように構成される第 1 入賞ユニット 3 0 0 は、ベース部材 1 0 1 の第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 に対して前方から取り付けられる。このとき、ベースプレート 3 1 1 の後面側に取り付けられた第 1 排出通路部材 3 2 1、第 1 通路カバー部材 3 3 1、第 2 排出通路部材 3 4 1、および第 2 通路カバー部材 3 5 1 は、第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 の内側に配置されるようになっている。これにより、ベース部材 1 0 1 の第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 の形状を変更することなく、ベースプレート 3 1 1、左側一般入賞装置 1 1 3、第 1 始動入賞装置 1 1 4 等のデザインのみを変更することが可能になり、低コストで、多種多様なデザインの遊技盤を容易に設計することができる。また、第 1 排出通路部材 3 2 1、第 1 通路カバー部材 3 3 1、第 2 排出通路部材 3 4 1、および第 2 通路カバー部材 3 5 1 が、第 1 入賞装置取付穴 1 0 3 の内側に配置されるため、ベース部材 1 0 1 の後面側で空いたスペースを、可動演出装置の設置スペースや配線スペース等として活用することが可能になる。 40

【 0 0 4 9 】

なお、遊技領域 P A 1 の下部左側を落下する遊技球が、3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... のうちいずれか一つに入球（入賞）すると、左側一般入賞装置 1 1 3 の内部および一般入賞球通過口 3 1 5 を通過して、第 1 球排出通路 3 2 2 における 3 つに分岐した上流端部のうちいずれか一つに落入し、第 1 球排出通路 3 2 2 および第 1 出口通路 3 3 2 を通過して遊技盤 1 0 0 の後方に排出される。また、遊技領域 P A 1 の下部中央を落下する遊技球が、第 1 始動入賞装置 1 1 4 に入球（入賞）すると、第 1 始動入賞装置 1 1 4 50

の内部および始動入賞球通過口 3 1 7 を通過して、第 2 球排出通路 3 4 2 の上流端部に落入し、第 2 球排出通路 3 4 2 および第 2 出口通路 3 5 2 を通過して遊技盤 1 0 0 の後方に排出される。このように、複数の左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... に対して 1 つの第 1 球排出通路 3 2 2 (および第 1 出口通路 3 3 2) が合流するように設けられることで、第 1 排出通路部材 3 2 1 (および第 1 通路カバー部材 3 3 1) を小型化することができ、左側一般入賞装置のデザインの変更等 (例えば、左側一般入賞装置の個数の変更等) を容易に行うことができる。

【 0 0 5 0 】

また、ベースプレートの前面中間部には、複数の左側一般入賞装置に限らず、少なくとも一つの左側一般入賞装置と、第 2 のアウト口とが設けられるようにしてもよい。このようにすれば、出玉率を容易に変更することが可能になる。なおこの場合、ベースプレートの後面側に、前述と同様の第 1 球排出通路 (および第 1 出口通路) が設けられ、ベースプレートの前面側に、第 2 のアウト口を通過した遊技球をアウト口 1 1 9 に合流させるアウト球合流通路が設けられるようにしてもよい。

【 0 0 5 1 】

[ガイド部材の近傍の釘等の配置]

次に、遊技領域 P A 1 の左側における釘 1 1 1 および風車 1 1 2 等の配置について、図 1 9 ~ 図 2 0 を参照して説明する。各釘 1 1 1 は、図 2 0 に示すように、ベース部材 1 0 1 の前面 (遊技領域を構成する盤面) に対して概ね垂直な方向に立設され、ベース部材 1 0 1 の前面から板状の複層ガラス 5 a の後面近傍まで延びるように形成される。なお、「概ね垂直」とは、釘 1 1 1 がベース部材 1 0 1 の前面に対して垂直な場合に加え、釘 1 1 1 がベース部材 1 0 1 の前面に対して垂直よりも僅かに傾斜している場合を含むものとする。また、以降で述べる「連釘」とは、遊技領域 P A 1 に直線的に並んで配置された少なくとも 2 本以上の釘 1 1 1 から構成されたものである。また、ベース部材 1 0 1 における遊技領域 P A 1 の前面と、ベース部材 1 0 1 の前方に所定間隔 (遊技球 B が通過可能な間隔) を置いて配置された複層ガラス 5 a の後面との間に、遊技領域 P A 1 の前面において遊技球 B が落下可能な遊技空間 S 1 が形成される。

【 0 0 5 2 】

釘 1 1 1 は、円柱状に形成された胴部 1 1 1 a と、胴部 1 1 1 a の一端に傘状に形成された頭部 1 1 1 b とを有して構成される。そして、遊技領域 P A 1 を落下する遊技球 B が釘 1 1 1 に当接する場合、釘 1 1 1 の胴部 1 1 1 a に当接するようになっている。以降の各実施形態において、釘 1 1 1 同士の間隔は、各釘 1 1 1 の胴部 1 1 1 a の間隔 D (例えば、各釘 1 1 1 の頭部 1 1 1 b に近接する胴部 1 1 1 a の外周面同士の間隔) を示すものとする。

【 0 0 5 3 】

風車 1 1 2 は、遊技領域 P A 1 の左側 (センター飾り 2 0 0 の左方) に回転自在に設けられ、遊技領域 P A 1 の左側を落下する遊技球 B が風車 1 1 2 に当接すると、遊技球 B の落下する向きが変化し得るように構成される。前述したように、ガイド部材 3 0 1 は、遊技領域 P A 1 の下部左側における風車 1 1 2 の下方に配置される。これにより、遊技領域 P A 1 における風車 1 1 2 の左方を通して落下する遊技球 B (図 1 9 の左側の破線矢印を参照) が、ガイド部材 3 0 1 の傾斜面 3 0 2 に沿って (右下方に) 落下移動できるようになっている。

【 0 0 5 4 】

遊技領域 P A 1 の下部左側におけるガイド部材 3 0 1 の傾斜面 3 0 2 の右下方に、第 1 下側連釘 1 5 1 が配置される。第 1 下側連釘 1 5 1 は、水平に対し右下方に傾斜する方向 (第 1 始動入賞装置 1 1 4 に向かう方向) に直線的に並ぶ 3 本の釘 (1 1 1) から構成される。第 1 下側連釘 1 5 1 は、ガイド部材 3 0 1 の傾斜面 3 0 2 から右下方に落下する遊技球 B がこの 3 本の釘 (1 1 1) の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 1 下側連釘 1 5 1 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔 (例えば、遊技球 B の半径以下の間隔) に設定される。また、ガイド部材 3 0 1

10

20

30

40

50

の傾斜面 3 0 2 の水平に対する傾斜角度は、第 1 下側連釘 1 5 1 が直線的に並ぶ方向（図 1 9 の二点鎖線に沿った方向）の傾斜角度よりも緩い角度に設定される。

【 0 0 5 5 】

なお、第 1 下側連釘 1 5 1 が直線的に並ぶ方向の傾斜角度は、図 1 9 の二点鎖線で示すように、第 1 下側連釘 1 5 1 の左上端部に位置する釘と、第 1 下側連釘 1 5 1 の左上端部から数えて 2 番目に位置する釘とを通る直線の水平に対する傾斜角度を示すものとする。また、第 1 下側連釘 1 5 1 が直線的に並ぶ方向の傾斜角度は、第 1 下側連釘 1 5 1 の左上端部に位置する釘と、第 1 下側連釘 1 5 1 の右下端部に位置する釘とを通る直線の水平に対する傾斜角度を示すものとしてもよい。

【 0 0 5 6 】

遊技領域 P A 1 の下部左側における第 1 下側連釘 1 5 1 の右下方に、第 2 下側連釘 1 5 2 が配置される。第 2 下側連釘 1 5 2 は、第 1 下側連釘 1 5 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 3 本の釘（ 1 1 1 ）から構成される。第 2 下側連釘 1 5 2 は、遊技球 B がこの 3 本の釘（ 1 1 1 ）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 2 下側連釘 1 5 2 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 1 下側連釘 1 5 1 （右下端部に位置する釘）と、第 2 下側連釘 1 5 2 （左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。

【 0 0 5 7 】

遊技領域 P A 1 の下部左側における第 2 下側連釘 1 5 2 の右下方に、第 3 下側連釘 1 5 3 が配置される。第 3 下側連釘 1 5 3 は、第 1 下側連釘 1 5 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 3 本の釘（ 1 1 1 ）から構成される。第 3 下側連釘 1 5 3 は、遊技球 B がこの 3 本の釘（ 1 1 1 ）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 3 下側連釘 1 5 3 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 2 下側連釘 1 5 2 （右下端部に位置する釘）と、第 3 下側連釘 1 5 3 （左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。

【 0 0 5 8 】

遊技領域 P A 1 の下部左側における第 3 下側連釘 1 5 3 の右下方に、第 4 下側連釘 1 5 4 が配置される。第 4 下側連釘 1 5 4 は、第 1 下側連釘 1 5 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 4 本の釘（ 1 1 1 ）から構成される。第 4 下側連釘 1 5 4 は、遊技球 B がこの 4 本の釘（ 1 1 1 ）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 4 下側連釘 1 5 4 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 3 下側連釘 1 5 3 （右下端部に位置する釘）と、第 4 下側連釘 1 5 4 （左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。

【 0 0 5 9 】

遊技領域 P A 1 の下部左側における第 1 ～第 4 下側連釘 1 5 1 ～ 1 5 4 の上方かつ風車 1 1 2 の下方に、第 1 ～第 4 上側連釘 1 6 1 ～ 1 6 4 が配置される。第 1 上側連釘 1 6 1 は、遊技領域 P A 1 の下部左側における風車 1 1 2 の右下方に配置される。第 1 上側連釘 1 6 1 は、水平に対し右下方に傾斜する方向（第 1 始動入賞装置 1 1 4 に向かう方向）に直線的に並ぶ 3 本の釘（ 1 1 1 ）から構成される。第 1 上側連釘 1 6 1 は、遊技領域 P A 1 における風車 1 1 2 の右方を通して落下する遊技球 B（図 1 9 の右側の破線矢印を参照）がこの 3 本の釘（ 1 1 1 ）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 1 上側連釘 1 6 1 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 1 上側連釘 1 6 1 は、第 1 下側連釘 1 5 1 の上方に略平行に設けられ、第 1 下側連釘 1 5 1 と第 1 上側連釘 1

10

20

30

40

50

6 1 との上下方向の間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径の 2 倍よりも小さい間隔）に設定される。

【 0 0 6 0 】

第 2 上側連釘 1 6 2 は、遊技領域 P A 1 の下部左側における第 1 上側連釘 1 6 1 の右下方に配置される。第 2 上側連釘 1 6 2 は、第 1 上側連釘 1 6 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 3 本の釘（ 1 1 1 ）から構成される。第 2 上側連釘 1 6 2 は、遊技球 B がこの 3 本の釘（ 1 1 1 ）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 2 上側連釘 1 6 2 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 1 上側連釘 1 6 1 （右下端部に位置する釘）と、第 2 上側連釘 1 6 2 （左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。また、第 2 上側連釘 1 6 2 は、第 2 下側連釘 1 5 2 の上方に略平行に設けられ、第 2 下側連釘 1 5 2 と第 2 上側連釘 1 6 2 との上下方向の間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径の 2 倍よりも小さい間隔）に設定される。

10

【 0 0 6 1 】

第 3 上側連釘 1 6 3 は、遊技領域 P A 1 の下部左側における第 2 上側連釘 1 6 2 の右下方に配置される。第 3 上側連釘 1 6 3 は、第 1 上側連釘 1 6 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 3 本の釘（ 1 1 1 ）から構成される。第 3 上側連釘 1 6 3 は、遊技球 B がこの 3 本の釘（ 1 1 1 ）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 3 上側連釘 1 6 3 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 2 上側連釘 1 6 2 （右下端部に位置する釘）と、第 3 上側連釘 1 6 3 （左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。また、第 3 上側連釘 1 6 3 は、第 3 下側連釘 1 5 3 の上方に略平行に設けられ、第 3 下側連釘 1 5 3 と第 3 上側連釘 1 6 3 との上下方向の間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径の 2 倍よりも小さい間隔）に設定される。

20

【 0 0 6 2 】

第 4 上側連釘 1 6 4 は、遊技領域 P A 1 の下部左側における第 3 上側連釘 1 6 3 の右下方に配置される。第 4 上側連釘 1 6 4 は、第 1 上側連釘 1 6 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 7 本の釘（ 1 1 1 ）から構成される。第 4 上側連釘 1 6 4 は、遊技球 B がこの 7 本の釘（ 1 1 1 ）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 4 上側連釘 1 6 4 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 3 上側連釘 1 6 3 （右下端部に位置する釘）と、第 4 上側連釘 1 6 4 （左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。また、第 4 上側連釘 1 6 4 は、第 4 下側連釘 1 5 4 の上方に略平行に設けられ、第 4 下側連釘 1 5 4 と第 4 上側連釘 1 6 4 との上下方向の間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径の 2 倍よりも小さい間隔）に設定される。

30

40

【 0 0 6 3 】

前述したように、遊技領域 P A 1 における風車 1 1 2 の右方を通して落下する遊技球 B は、第 1 上側連釘 1 6 1 まで落下すると、第 1 上側連釘 1 6 1 にガイドされて右下方に落下移動する。なお、第 1 上側連釘 1 6 1 の上を右下方に落下移動する遊技球 B は、第 1 ～ 第 4 上側連釘 1 6 1 ～ 1 6 4 の間隙部を通して落下しない限り、さらに第 2 ～ 第 4 上側連釘 1 6 2 ～ 1 6 4 の上を右下方に落下移動することが可能である。

【 0 0 6 4 】

一方、遊技領域 P A 1 における風車 1 1 2 の左方を通して落下する遊技球 B は、ガイド部材 3 0 1 の傾斜面 3 0 2 まで落下し、当該傾斜面 3 0 2 に沿って右下方に落下移動する

50

ことができる。そして、ガイド部材 301 の傾斜面 302 から右下方に落下する遊技球 B は、第 1 下側連釘 151 にガイドされて、少なくとも、第 1 下側連釘 151 と第 1 上側連釘 161 との間を通過して落下移動することができるように構成される。これにより、ガイド部材 301 の傾斜面 302 から右下方に落下する遊技球 B は、第 1 ～ 第 4 下側連釘 151 ～ 154 の間隙部を通過して落下しない限り、第 1 ～ 第 4 下側連釘 151 ～ 154 を構成するいずれかの釘と、第 1 ～ 第 4 上側連釘 161 ～ 164 を構成するいずれかの釘とに当接して上下に弾むように、第 1 ～ 第 4 下側連釘 151 ～ 154 と第 1 ～ 第 4 上側連釘 161 ～ 164 との間を落下移動することが可能になる。そのため、ガイド部材 301 の傾斜面 302 から右下方に落下する遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

10

【0065】

なお、第 1 ～ 第 4 下側連釘 151 ～ 154 の下方に 3 つの左側一般入賞装置 113, 113, ... が配置される。第 1 ～ 第 4 下側連釘 151 ～ 154 におけるいずれかの間隙部を通過して落下する遊技球 B は、3 つの左側一般入賞装置 113, 113, ... うちいずれかの左側一般入賞口 113a を通過し得るようになっている。また、第 4 下側連釘 154 から右下方に落下する遊技球 B は、第 1 始動入賞装置 114 の第 1 始動入賞口 114a よりも下方に落下するため、第 1 始動入賞装置 114 に入球（入賞）するのが非常に困難である。但し、遊技領域 PA1 における第 1 始動入賞装置 114 の下方に隣接して、第 2 始動入賞装置もしくは大入賞装置等の開閉型入賞装置が設けられる場合には、第 4 下側連釘 154 から右下方に落下する遊技球 B が当該開閉型入賞装置に入球（入賞）し得るよう構成されてもよい。

20

【0066】

また、遊技球 B が通過し得る 3 つの間隙部を介して、第 1 ～ 第 4 上側連釘 161 ～ 164 が設けられているが、これに限られるものではなく、遊技球が通過し得る 1 つの間隙部を介して、2 つの上側連釘が設けられるようにしてもよく、遊技球が通過し得る間隙部を無くして、1 つの長い上側連釘が設けられるようにしてもよい。また、第 1 ～ 第 4 上側連釘 161 ～ 164 を構成する釘（111）の一部を、遊技領域 PA1 の前面に対して傾斜するジャンプ釘とし、第 1 ～ 第 4 上側連釘 161 ～ 164 の上を落下移動する遊技球 B が当該ジャンプ釘に当接すると、センター飾り 200 のステージ部 252 に向けて弾んでステージ部 252 の上に乗ることができるように構成されてもよい。

30

【0067】

[第 1 実施形態における特徴構成]

[ガイド部材の近傍の釘等の特徴構成]

本実施形態において、ガイド部材 301 の傾斜面 302 の傾斜角度は、第 1 下側連釘 151 が直線的に並ぶ方向の傾斜角度よりも緩い角度に設定され、傾斜面 302 から右下方に落下する遊技球 B が、遊技領域 PA1 における第 1 下側連釘 151 と第 1 上側連釘 161 との間を通過して落下移動することができるように構成される。このように、ガイド部材 301 の傾斜面 302 の傾斜角度は、第 1 下側連釘 151 が直線的に並ぶ方向の傾斜角度よりも緩い角度に設定されるため、遊技球 B が傾斜面 302 から深く落ち込む形で第 1 下側連釘 151 の上に落下する。そのため、ガイド部材 301 の傾斜面 302 から第 1 下側連釘 151 の上方に飛び出して落下する遊技球 B が第 1 下側連釘 151 の上で弾み易くなったり、傾斜面 302 と第 1 下側連釘 151 との傾斜角度の差により遊技球 B の落下移動速度が変化したりすることで、ガイド部材 301 の傾斜面 302 から右下方に落下する遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

40

【0068】

また、第 1 上側連釘 161 は、遊技領域 PA1 における第 1 下側連釘 151 の上方に略平行に設けられ、第 1 下側連釘 151 と第 1 上側連釘 161 との間隔は、遊技球 B の直径よりも大きく遊技球 B の直径の 2 倍よりも小さい間隔に設定される。これにより、ガイド部材 301 の傾斜面 302 から右下方に落下する遊技球 B は、第 1 下側連釘 151 を構成

50

するいずれかの釘 1 1 1 と、第 1 上側連釘 1 6 1 を構成するいずれかの釘 1 1 1 とに当接して上下に弾むように、第 1 下側連釘 1 5 1 と第 1 上側連釘 1 6 1 との間を落下移動することが可能になる。このようにして、ガイド部材 3 0 1 の傾斜面 3 0 2 から右下方に落下する遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

【 0 0 6 9 】

[遊技盤の第 2 実施形態]

次に、第 2 実施形態に係る遊技盤 5 0 0 の概要構成について、図 2 1 を参照して説明する。第 2 実施形態に係る遊技盤 5 0 0 は、ベース部材 5 0 1 と、内レール部材 1 0 6 および外レール部材 1 0 7 とを有し、ベース部材 5 0 1 の前面に、左側の領域が内レール部材 1 0 6 に囲まれるとともに、上側および右側の領域が外レール部材 1 0 7 に囲まれた遊技領域 P A 2 が形成される。この遊技領域 P A 2 には、複数の釘 1 1 1 や風車 1 1 2 とともに、遊技領域 P A 2 の中央部近傍に配置されたセンター飾り 5 2 0 と、遊技領域 P A 2 の下部左側に配置された 2 つの左側一般入賞装置 5 1 3、5 1 3 と、遊技領域 P A 2 の下部中央に配置された第 1 始動入賞装置 5 1 4 と、遊技領域 P A 2 の下部右側に配置された、第 2 始動入賞装置 5 1 5、大入賞装置 5 1 6、右側一般入賞装置 5 1 7、および補助遊技始動ゲート 5 1 8 と、遊技領域 P A 2 の下端に配置されたアウト口 5 1 9 等が設けられる。

【 0 0 7 0 】

ベース部材 5 0 1 は、第 1 実施形態のベース部材 1 0 1 と同様に形成される。第 1 実施形態と同様、ベース部材 5 0 1 に開口形成された各取付穴（図示せず）に、センター飾り 5 2 0、左側一般入賞装置 5 1 3、第 1 始動入賞装置 5 1 4、第 2 始動入賞装置 5 1 5、大入賞装置 5 1 6、右側一般入賞装置 5 1 7、および補助遊技始動ゲート 5 1 8 等が取り付けられる。ベース部材 5 0 1 の後面側に、リール型演出装置 5 2 1 が取り付けられ、センター飾り 5 2 0 の開口部分を通じて、リール型演出装置 5 2 1 の各リールを前方から視認可能に構成されている。

【 0 0 7 1 】

なお、内レール部材 1 0 6 および外レール部材 1 0 7 と、発射通路 1 0 9 については、第 1 実施形態と同様の構成であり、第 1 実施形態の場合と同じ符号を付して詳細な説明を省略する。また、釘 1 1 1 および風車 1 1 2 については、第 1 実施形態と同様の形状であり、第 1 実施形態の場合と同じ符号を付して各部の説明を省略する。また、遊技領域 P A 2 の下部左側には、第 1 実施形態のガイド部材 3 0 1 と同様に構成された傾斜面 5 2 7 を有するガイド部材 5 2 6 が設けられる。

【 0 0 7 2 】

[ガイド部材の近傍の釘等の配置]

次に、遊技領域 P A 2 の左側における釘 1 1 1 および風車 1 1 2 等の配置について、図 2 1 および図 2 2 を参照して説明する。各釘 1 1 1 は、第 1 実施形態と同様に、ベース部材 5 0 1 の前面（遊技領域を構成する盤面）に対して概ね垂直な方向に立設され、ベース部材 5 0 1 の前面から板状の複層ガラス 5 a の後面近傍まで延びるように形成される。また、ベース部材 5 0 1 における遊技領域 P A 2 の前面と、ベース部材 5 0 1 の前方に所定間隔（遊技球 B が通過可能な間隔）を置いて配置された複層ガラス 5 a の後面との間に、遊技領域 P A 2 の前面において遊技球 B が落下可能な遊技空間 S 2 が形成される（図 2 5（a）を参照）。

【 0 0 7 3 】

風車 1 1 2 は、第 1 実施形態と同様に、遊技領域 P A 2 の左側（センター飾り 5 2 0 の左方）に回転自在に設けられる。ガイド部材 5 2 6 は、遊技領域 P A 2 の下部左側における風車 1 1 2 の下方に配置される。これにより、遊技領域 P A 2 における風車 1 1 2 の左方を通して落下する遊技球 B が、ガイド部材 5 2 6 の傾斜面 5 2 7 に沿って（右下方に）落下移動できるようになっている。

【 0 0 7 4 】

遊技領域 P A 2 の下部左側におけるガイド部材 5 2 6 の傾斜面 5 2 7 の右下方に、第 1 下側連釘 5 5 1 が配置される。第 1 下側連釘 5 5 1 は、水平に対し右下方に傾斜する方向（第 1 始動入賞装置 5 1 4 に向かう方向）に直線的に並ぶ 3 本の釘（1 1 1）から構成される。第 1 下側連釘 5 5 1 は、ガイド部材 5 2 6 の傾斜面 5 2 7 から右下方に落下する遊技球 B がこの 3 本の釘（1 1 1）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 1 下側連釘 5 5 1 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、ガイド部材 5 2 6 の傾斜面 5 2 7 の水平に対する傾斜角度は、第 1 下側連釘 5 5 1 が直線的に並ぶ方向の傾斜角度よりも緩い角度に設定される。

【 0 0 7 5 】

10

遊技領域 P A 2 の下部左側における第 1 下側連釘 5 5 1 の右下方に、第 2 下側連釘 5 5 2 が配置される。第 2 下側連釘 5 5 2 は、第 1 下側連釘 5 5 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 5 本の釘（1 1 1）から構成される。第 2 下側連釘 5 5 2 は、遊技球 B がこの 5 本の釘（1 1 1）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 2 下側連釘 5 5 2 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 1 下側連釘 5 5 1（右下端部に位置する釘）と、第 2 下側連釘 5 5 2（左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。

【 0 0 7 6 】

20

遊技領域 P A 2 の下部左側における第 1 ～ 第 2 下側連釘 5 5 1 ～ 5 5 2 の上方かつ風車 1 1 2 の下方に、第 1 ～ 第 3 上側連釘 5 6 1 ～ 5 6 3 が配置される。第 1 上側連釘 5 6 1 は、遊技領域 P A 2 の下部左側における風車 1 1 2 の右下方に配置される。第 1 上側連釘 5 6 1 は、水平に対し右下方に傾斜する方向（第 1 始動入賞装置 5 1 4 に向かう方向）に直線的に並ぶ 6 本の釘（1 1 1）から構成される。第 1 上側連釘 5 6 1 は、遊技領域 P A 2 における風車 1 1 2 の右方を通して落下する遊技球 B がこの 6 本の釘（1 1 1）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 1 上側連釘 5 6 1 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 1 上側連釘 5 6 1 は、第 1 下側連釘 5 5 1 の上方に略平行に設けられ、第 1 下側連釘 5 5 1 と第 1 上側連釘 5 6 1 との上下方向の間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径の 2 倍よりも小さい間隔）に設定される。

30

【 0 0 7 7 】

第 2 上側連釘 5 6 2 は、遊技領域 P A 2 の下部左側における第 1 上側連釘 5 6 1 の右下方に配置される。第 2 上側連釘 5 6 2 は、第 1 上側連釘 5 6 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 1 0 本の釘（1 1 1）から構成される。第 2 上側連釘 5 6 2 は、遊技球 B がこの 1 0 本の釘（1 1 1）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 2 上側連釘 5 6 2 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、第 1 上側連釘 5 6 1（右下端部に位置する釘）と、第 2 上側連釘 5 6 2（左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。また、第 2 上側連釘 5 6 2 は、第 2 下側連釘 5 5 2 の上方に略平行に設けられ、第 2 下側連釘 5 5 2 と第 2 上側連釘 5 6 2 との上下方向の間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径の 2 倍よりも小さい間隔）に設定される。

40

【 0 0 7 8 】

第 3 上側連釘 5 6 3 は、遊技領域 P A 2 の下部左側における第 2 上側連釘 5 6 2 の右下方に配置される。第 3 上側連釘 5 6 3 は、第 1 上側連釘 5 6 1 と同じく右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ 7 本の釘（1 1 1）から構成される。第 3 上側連釘 5 6 3 は、遊技球 B がこの 7 本の釘（1 1 1）の上を落下移動するようにガイドする。なお、第 3 上側連釘

50

５６３を構成する釘同士の間隔は、遊技球Ｂが通らず、遊技球Ｂが乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球Ｂの半径以下の間隔）に設定される。また、第２上側連釘５６２（右下端部に位置する釘）と、第３上側連釘５６３（左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球Ｂが通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球Ｂの直径よりも大きくて、遊技球Ｂの直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第２上側連釘５６２（右下端部に位置する釘）と、第３上側連釘５６３（左上端部に位置する釘）との間隔は１２．００ｍｍに設定される。なお、各実施形態において、遊技球Ｂの直径は１１．００ｍｍに設定される。

【００７９】

前述したように、遊技領域ＰＡ２における風車１１２の右方を通して落下する遊技球Ｂは、第１上側連釘５６１まで落下すると、第１上側連釘５６１にガイドされて右下方に落下移動する。なお、第１上側連釘５６１の上を右下方に落下移動する遊技球Ｂは、第１～第３上側連釘５６１～５６３の間隙部を通して落下しない限り、さらに第２～第３上側連釘５６２～５６３の上を右下方に落下移動することが可能である。

【００８０】

一方、遊技領域ＰＡ２における風車１１２の左方を通して落下する遊技球Ｂは、ガイド部材５２６の傾斜面５２７まで落下し、当該傾斜面５２７に沿って右下方に落下移動することができる。そして、ガイド部材５２６の傾斜面５２７から右下方に落下する遊技球Ｂは、第１下側連釘５５１にガイドされて、少なくとも、第１下側連釘５５１と第１上側連釘５６１との間を通して落下移動することができるように構成される。これにより、ガイド部材５２６の傾斜面５２７から右下方に落下する遊技球Ｂは、第１～第２下側連釘５５１～５５２の間隙部を通して落下しない限り、第１～第２下側連釘５５１～５５２を構成するいずれかの釘と、第１～第２上側連釘５６１～５６２を構成するいずれかの釘とに当接して上下に弾むように、第１～第２下側連釘５５１～５５２と第１～第２上側連釘５６１～５６２との間を落下移動することが可能になる。そのため、ガイド部材５２６の傾斜面５２７から右下方に落下する遊技球Ｂの動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球Ｂの動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

【００８１】

なお、第１～第２下側連釘５５１～５５２の下方に２つの左側一般入賞装置５１３、５１３が配置される。左側一般入賞装置５１３の上部には、遊技領域ＰＡ２の下部左側を落下する遊技球が通過可能な左側一般入賞口５１３ａが形成される。第１下側連釘５５１と第２下側連釘５５２との間隙部を通して落下する遊技球Ｂは、２つのうち左方の左側一般入賞装置５１３に形成された左側一般入賞口５１３ａを通過可能に構成される。一方、第２下側連釘５５２まで達して第２下側連釘５５２の右下方に落下する遊技球Ｂは、２つのうち右方の左側一般入賞装置５１３に形成された左側一般入賞口５１３ａを通過可能に構成される。

【００８２】

[左側一般入賞装置の近傍の釘等の配置]

次に、遊技領域ＰＡ２における右方の左側一般入賞口５１３ａの上方に配置される釘１１１について、図２２を参照して説明する。遊技領域ＰＡ２における右方の左側一般入賞口５１３ａの左側縁部の上方近傍に、第１の左遊技釘５７１が配置される。遊技領域ＰＡ２における右方の左側一般入賞口５１３ａの右側縁部の上方近傍に、第１の左遊技釘５７１と同じ高さ位置で第２の左遊技釘５７２が配置される。遊技領域ＰＡ２における第１の左遊技釘５７１の左上方に、第３の左遊技釘５７３が配置される。遊技領域ＰＡ２における第１の左遊技釘５７１の右上方かつ第２の左遊技釘５７２の左上方に、第３の左遊技釘５７３と同じ高さ位置で第４の左遊技釘５７４が配置される。遊技領域ＰＡ２における第２の左遊技釘５７２の右上方に、第３の左遊技釘５７３と同じ高さ位置で第５の左遊技釘５７５が配置される。第１～第５の左遊技釘５７１～５７５はそれぞれ、１本の釘（１１１）から構成される。

【００８３】

遊技領域 P A 2 における第 3 の左遊技釘 5 7 3 の左上方近傍に、前述の第 2 下側連釘 5 5 2 が配置される。さらに、遊技領域 P A 2 における第 3 の左遊技釘 5 7 3 の上方（且つ、第 2 下側連釘 5 5 2 の上方）に、前述の第 2 上側連釘 5 6 2 が配置される。遊技領域 P A 2 における第 5 の左遊技釘 5 7 5 の上方（且つ、第 2 上側連釘 5 6 2 の右下方）に、前述の第 3 上側連釘 5 6 3 が配置される。

【 0 0 8 4 】

そして、遊技領域 P A 2 における第 2 上側連釘 5 6 2 と第 3 上側連釘 5 6 3 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間、もしくは第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通過するように構成される。第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間のうちいずれかを通過するように構成される。一方、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間のうちいずれかを通過するように構成される。

10

【 0 0 8 5 】

また、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1、第 2 の左遊技釘 5 7 2、第 3 の左遊技釘 5 7 3、および第 4 の左遊技釘 5 7 4 のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えることにより、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間を通過することが可能となるように構成される。一方、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1、第 2 の左遊技釘 5 7 2、第 4 の左遊技釘 5 7 4、および第 5 の左遊技釘 5 7 5 のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えることにより、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間を通過することが可能となるように構成される。

20

【 0 0 8 6 】

なお、遊技領域 P A 2 における第 4 の左遊技釘 5 7 4 の上方近傍に、第 2 上側連釘 5 6 2 と第 3 上側連釘 5 6 3 との間を通過して落下する遊技球 B が直接的に第 4 の左遊技釘 5 7 4 に当接するのを防ぐ緩衝釘 5 7 6 が配置される。緩衝釘 5 7 6 は、1 本の釘（1 1 1）から構成される。第 2 上側連釘 5 6 2 と第 3 上側連釘 5 6 3 との間を通過して落下する遊技球 B が緩衝釘 5 7 6 に当接することで、遊技球 B が断続的に当接することにより第 4 の左遊技釘 5 7 4 が傾くように変位するのを防ぎ、第 1 ～ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ～ 5 7 5 の間隔を一定に保つことができる。

30

【 0 0 8 7 】

第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（遊技球 B の直径よりも大きい間隔）に設定される。具体例として、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔は 1 1 . 5 0 mm に設定される。第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔よりも大きい間隔）に設定される。具体例として、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔は 1 4 . 0 0 mm に設定される。第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔よりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は 1 1 . 5 0 mm に設定される。

40

【 0 0 8 8 】

第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔よりも大きい間隔）に設定される。具体例として、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔は 1 4 . 0 0 mm に設定される。第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は、遊

50

技球 B が通過し得る所定の間隔（第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔よりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は 1 1 . 5 0 mm に設定される。

【 0 0 8 9 】

第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔よりも大きくて、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔よりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は 1 4 . 4 0 mm に設定される。第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さより小さい間隔）に設定される。具体例として、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔は 1 5 . 2 6 mm に設定される。

10

【 0 0 9 0 】

緩衝釘 5 7 6 と第 2 上側連釘 5 6 2（右下端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（遊技球 B の直径よりも大きい間隔）に設定される。具体例として、緩衝釘 5 7 6 と第 2 上側連釘 5 6 2（右下端部に位置する釘）との間隔は 1 1 . 7 1 mm に設定される。緩衝釘 5 7 6 と第 3 上側連釘 5 6 3（左上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（遊技球 B の直径よりも大きい間隔）に設定される。具体例として、緩衝釘 5 7 6 と第 3 上側連釘 5 6 3（左上端部に位置する釘）との間隔は 1 5 . 4 7 mm に設定される。

20

【 0 0 9 1 】

前述したように、遊技領域 P A 2 における第 2 上側連釘 5 6 2 と第 3 上側連釘 5 6 3 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間、もしくは第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通る。このとき、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔よりも小さい間隔に設定されるため、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間と、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間で、遊技球 B の通り易さが異なっている。

【 0 0 9 2 】

遊技領域 P A 2 における第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1、第 2 の左遊技釘 5 7 2、第 3 の左遊技釘 5 7 3、および第 4 の左遊技釘 5 7 4 のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えて、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間、のうちいずれかを通る。このとき、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔および第 1 の左遊技釘 5 7 1（第 2 の左遊技釘 5 7 2）と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔よりも大きい間隔に設定されるため、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間と、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間と、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間で、遊技球 B の通り易さが異なっている。

30

40

【 0 0 9 3 】

一方、遊技領域 P A 2 における第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1、第 2 の左遊技釘 5 7 2、第 4 の左遊技釘 5 7 4、および第 5 の左遊技釘 5 7 5 のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えて、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間、のうちいずれかを通る。このとき、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔および第 2 の左遊技釘 5 7 2（第 1 の左遊技釘 5 7 1）と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔よりも大きい間隔に設定されるため、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間と、第 2 の左遊技釘 5

50

7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間と、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間で、遊技球 B の通り易さが異なっている。

【 0 0 9 4 】

そして、遊技領域 P A 2 における第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間を
通って落下する遊技球 B は、右方の左側一般入賞口 5 1 3 a を通過して左側一般入賞装
置 5 1 3 に入球（入賞）する。一方、遊技領域 P A 2 における第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第
3 の左遊技釘 5 7 3 との間を通過して落下する遊技球 B は、2 つの左側一般入賞装置 5 1 3
, 5 1 3 の間を落下して、アウト口 5 1 9 に導かれる。また、遊技領域 P A 2 における第
2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通過して落下する遊技球 B は、右方の
左側一般入賞装置 5 1 3 と第 1 始動入賞装置 5 1 4 との間を落下して、アウト口 5 1 9 に
導かれる。このように、第 1 ～第 5 の左遊技釘 5 7 1 ～ 5 7 5 の間隔を変えて、各遊技釘
間での遊技球 B の通り易さを異ならせることで、第 1 ～第 5 の左遊技釘 5 7 1 ～ 5 7 5 の
間を通る遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様に
して遊技性をより高めることができる。

10

【 0 0 9 5 】

なお、遊技領域 P A 2 における第 2 下側連釘 5 5 2 の上を落下移動して、当該第 2 下側
連釘 5 5 2 の右下方に落下する遊技球 B は、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7
4 との間を通過してから、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間、第 1 の左
遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5
7 5 との間のうちいずれかを通る。これにより、第 2 下側連釘 5 5 2 の右下方に落下する
遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性
をより高めることができる。

20

【 0 0 9 6 】

[右側一般入賞装置の近傍の釘等の配置]

前述したように、遊技領域 P A 2 の下部右側に、第 2 始動入賞装置 5 1 5 、大入賞装置
5 1 6 、右側一般入賞装置 5 1 7 、および補助遊技始動ゲート 5 1 8 が配置される。左側
一般入賞装置 5 1 3 と同様、右側一般入賞装置 5 1 7 の上部に、遊技領域 P A 2 の下部右
側を落下する遊技球が通過可能な右側一般入賞口 5 1 7 a が形成される（図 2 3 を参照）
。また、遊技領域 P A 2 における右側一般入賞装置 5 1 7 の左上方に第 2 始動入賞装置 5
1 5 が配置され、右側一般入賞装置 5 1 7 の右下方に大入賞装置 5 1 6 が配置される。第
2 始動入賞装置 5 1 5 は、第 2 始動入賞口 5 1 5 a を揺動開閉可能な羽根部材 5 1 5 w （
図 2 3 を参照）を有する開閉型入賞装置である。また、遊技領域 P A 2 における右側一般
入賞装置 5 1 7 の上方かつ第 2 始動入賞装置 5 1 5 の右上方に、補助遊技始動ゲート 5 1
8 が配置される。

30

【 0 0 9 7 】

次に、遊技領域 P A 2 における右側一般入賞口 5 1 7 a の上方に配置される釘 1 1 1 に
ついて、図 2 3 を参照して説明する。遊技領域 P A 2 における右側一般入賞口 5 1 7 a の
左側縁部の上方近傍に、第 1 の右遊技釘 5 8 1 が配置される。遊技領域 P A 2 における右
側一般入賞口 5 1 7 a の右側縁部の上方近傍に、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と同じ高さ位置で
第 2 の右遊技釘 5 8 2 が配置される。遊技領域 P A 2 における第 1 の右遊技釘 5 8 1 の上
方に、第 3 の右遊技釘 5 8 3 が配置される。遊技領域 P A 2 における第 2 の右遊技釘 5 8
2 の上方に、第 3 の右遊技釘 5 8 3 と同じ高さ位置で第 4 の右遊技釘 5 8 4 が配置される
。第 1 ～第 4 の右遊技釘 5 8 1 ～ 5 8 4 はそれぞれ、1 本の釘（1 1 1）から構成される
。

40

【 0 0 9 8 】

遊技領域 P A 2 における第 4 の右遊技釘 5 8 4 の上方に、補助遊技始動ゲート 5 1 8 に
設けられたガイド部 5 1 8 g の下流端部に近接して上流釘 5 9 1 が配置される。上流釘 5
9 1 は、1 本の釘（1 1 1）から構成される。

【 0 0 9 9 】

遊技領域 P A 2 における第 3 の右遊技釘 5 8 3 の上方かつ上流釘 5 9 1 の左下方に、下

50

流側連釘 5 9 2 が配置される。下流側連釘 5 9 2 は、水平に対し左下方に傾斜する方向（第 2 始動入賞装置 5 1 5 に向かう方向）に直線的に並ぶ 4 本の釘（1 1 1）から構成される。下流側連釘 5 9 2 は、遊技球 B がこの 4 本の釘（1 1 1）の上を落下移動するようにガイドする。下流側連釘 5 9 2 における右上端部に位置する釘は、第 3 の右遊技釘 5 8 3 の上方近傍に配置され、下流側連釘 5 9 2（右上端部に位置する釘）と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間を遊技球 B が通れないようになっている。

【0 1 0 0】

なお、下流側連釘 5 9 2 を構成する釘同士の間隔は、遊技球 B が通らず、遊技球 B が乗ることもない所定の間隔（例えば、遊技球 B の半径以下の間隔）に設定される。また、上流釘 5 9 1 と下流側連釘 5 9 2（右上端部に位置する釘）との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。具体例として、上流釘 5 9 1 と下流側連釘 5 9 2（右上端部に位置する釘）との間隔は 1 1 . 2 5 mm に設定される。

10

【0 1 0 1】

また、遊技領域 P A 2 における上流釘 5 9 1 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間に、上流釘 5 9 1 と下流側連釘 5 9 2 との間を通過して落下する遊技球 B が上流釘 5 9 1 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間を通過するのを規制する規制釘 5 8 5 が配設される。規制釘 5 8 5 は、1 本の釘（1 1 1）から構成される。そして、遊技領域 P A 2 における上流釘 5 9 1 と下流側連釘 5 9 2 との間を通過して落下する遊技球 B は、上流釘 5 9 1、下流側連釘 5 9 2、第 3 の右遊技釘 5 8 3、第 4 の右遊技釘 5 8 4、および規制釘 5 8 5 のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えて第 3 の右遊技釘 5 8 3 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間を通過してから、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間、第 2 の右遊技釘 5 8 2 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間のうちいずれかを通過するように構成される。

20

【0 1 0 2】

第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間隔は 1 2 . 0 0 mm に設定される。第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間隔よりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間隔は 1 1 . 5 0 mm に設定される。第 2 の右遊技釘 5 8 2 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間隔よりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 2 の右遊技釘 5 8 2 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間隔は 1 1 . 5 0 mm に設定される。

30

【0 1 0 3】

第 3 の右遊技釘 5 8 3 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 3 の右遊技釘 5 8 3 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間隔は 1 1 . 5 0 mm に設定される。第 3 の右遊技釘 5 8 3 と規制釘 5 8 5 との間隔は、遊技球 B が通過し得る所定の間隔（例えば、遊技球 B の直径よりも大きくて、遊技球 B の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔）に設定される。具体例として、第 3 の右遊技釘 5 8 3 と規制釘 5 8 5 との間隔は 1 1 . 7 5 mm に設定される。

40

【0 1 0 4】

下流側連釘 5 9 2 の左下方には、第 2 始動入賞装置 5 1 5 における第 2 始動入賞口 5 1 5 a を開いた（開放位置に揺動変位する）状態の羽根部材 5 1 5 w が配置されるようになっている。第 2 始動入賞装置 5 1 5 の羽根部材 5 1 5 w よりも低い位置に、第 1 の右遊技釘 5 8 1 が配置され、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間を通過して落下する遊技球 B が、第 2 始動入賞口 5 1 5 a を開いた状態の羽根部材 5 1 5 w の上を落下移

50

動して第2始動入賞装置515に入球(入賞)しないようになっている。

【0105】

前述したように、遊技領域PA2における上流釘591と下流側連釘592との間を
って落下する遊技球Bは、上流釘591、下流側連釘592、第3の右遊技釘583、第
4の右遊技釘584、および規制釘585のうち少なくともいずれかに当接して落下する
向きを変えて第3の右遊技釘583と第4の右遊技釘584との間をってから、第1の
右遊技釘581と第2の右遊技釘582との間、第1の右遊技釘581と第3の右遊技釘
583との間、第2の右遊技釘582と第4の右遊技釘584との間のうちいずれかを通
る。このとき、第1の右遊技釘581と第3の右遊技釘583との間隔は、第1の右遊技
釘581と第2の右遊技釘582との間隔よりも小さい間隔に設定されるため、第1の右
遊技釘581と第2の右遊技釘582との間と、第1の右遊技釘581と第3の右遊技釘
583との間で、遊技球Bの通り易さが異なっている。また、第2の右遊技釘582と第
4の右遊技釘584との間隔は、第1の右遊技釘581と第2の右遊技釘582との間隔
よりも小さい間隔に設定されるため、第1の右遊技釘581と第2の右遊技釘582との
間と、第2の右遊技釘582と第4の右遊技釘584との間で、遊技球Bの通り易さが異
なっている。

10

【0106】

そして、遊技領域PA2における第1の右遊技釘581と第2の右遊技釘582との間
をって落下する遊技球Bは、右側一般入賞口517aを通過して右側一般入賞装置51
7に入球(入賞)する。一方、遊技領域PA2における第1の右遊技釘581と第3の右
遊技釘583との間をって落下する遊技球Bは、右側一般入賞装置517と第2始動入
賞装置515との間を落下して、大入賞装置516に入球(入賞)するか、もしくはアウト
口519に導かれる。また、遊技領域PA2における第2の右遊技釘582と第4の右
遊技釘584との間をって落下する遊技球Bは、右側一般入賞装置517の右方を落下
して、アウト口519に導かれる。このように、第1～第4の右遊技釘581～584の
間隔を変えて、各遊技釘間での遊技球Bの通り易さを異ならせることで、第1～第4の右
遊技釘581～584の間を通る遊技球Bの動きに変化を持たせることが可能になり、遊
技球Bの動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

20

【0107】

[第2実施形態における特徴構成]

30

[ガイド部材の近傍の釘等の特徴構成]

本実施形態において、ガイド部材526の傾斜面527の傾斜角度は、第1下側連釘5
51が直線的に並ぶ方向の傾斜角度よりも緩い角度に設定され、傾斜面527から右下方
に落下する遊技球Bが、遊技領域PA2における第1下側連釘551と第1上側連釘56
1との間をって落下移動することができるよう構成される。このように、ガイド部材
526の傾斜面527の傾斜角度は、第1下側連釘551が直線的に並ぶ方向の傾斜角度
よりも緩い角度に設定されるため、遊技球Bが傾斜面527から深く落ち込む形で第1下
側連釘551の上に落下する。そのため、ガイド部材526の傾斜面527から第1下側
連釘551の上方に飛び出して落下する遊技球Bが第1下側連釘551の上で弾み易くな
ったり、傾斜面527と第1下側連釘551との傾斜角度の差により遊技球Bの落下移動
速度が変化したりすることで、ガイド部材526の傾斜面527から右下方に落下する遊
技球Bの動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球Bの動きを多様にして遊技性を
より高めることができる。

40

【0108】

また、第1上側連釘561は、遊技領域PA2における第1下側連釘551の上方に略
平行に設けられ、第1下側連釘551と第1上側連釘561との間隔は、遊技球Bの直径
よりも大きく遊技球Bの直径の2倍よりも小さい間隔に設定される。これにより、ガイド
部材526の傾斜面527から右下方に落下する遊技球Bは、第1下側連釘551を構成
するいずれかの釘111と、第1上側連釘561を構成するいずれかの釘111とに当接
して上下に弾むように、第1下側連釘551と第1上側連釘561との間を落下移動する

50

ことが可能になる。このようにして、ガイド部材 5 2 6 の傾斜面 5 2 7 から右下方に落下する遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

【 0 1 0 9 】

[左側一般入賞装置の近傍の釘等の特徴構成]

本実施形態において、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間、もしくは第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通して落下する遊技球は、第 1 の左遊技釘 5 7 1、第 2 の左遊技釘 5 7 2、第 3 の左遊技釘 5 7 3、第 4 の左遊技釘 5 7 4、および第 5 の左遊技釘 5 7 5 のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えることにより、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間を通ることが可能となるように構成される。これにより、第 1 ～ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ～ 5 7 5 の間を通る遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

10

【 0 1 1 0 】

また、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間隔よりも大きい間隔に設定され、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間隔は、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間隔よりも大きくて、遊技球の直径に半径を加えた長さより小さい間隔に設定される。このように、第 1 ～ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ～ 5 7 5 の間隔を変えて、各遊技釘間での遊技球 B の通り易さを異ならせることで、第 1 ～ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ～ 5 7 5 の間を通る遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

20

【 0 1 1 1 】

[右側一般入賞装置の近傍の釘等の特徴構成]

本実施形態において、第 3 の右遊技釘 5 8 3 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間を通して落下する遊技球は、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間、第 2 の右遊技釘 5 8 2 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間のうちいずれかを通して構成され、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間隔は、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間隔よりも小さい間隔に設定され、第 2 の右遊技釘 5 8 2 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間隔は、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間隔よりも小さい間隔に設定される。このように、第 1 ～ 第 4 の右遊技釘 5 8 1 ～ 5 8 4 の間隔を変えて、各遊技釘間での遊技球 B の通り易さを異ならせることで、第 1 ～ 第 4 の右遊技釘 5 8 1 ～ 5 8 4 の間を通る遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

30

【 0 1 1 2 】

また、遊技領域 P A 2 における上流釘 5 9 1 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間に、遊技球 B が上流釘 5 9 1 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間を通るのを規制する規制釘 5 8 5 が配設される。これにより、上流釘 5 9 1 と下流側連釘 5 9 2 との間を通して落下する遊技球 B が全て第 3 の右遊技釘 5 8 3 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間を通るため、遊技球 B が右側一般入賞装置 5 1 7 に入球（入賞）する期待感を過度に低下させることなく、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

40

【 0 1 1 3 】

また、上流釘 5 9 1 と下流側連釘 5 9 2 との間を通して落下する遊技球 B は、規制釘 5 8 5 に当接して落下する向きを変えて第 3 の右遊技釘 5 8 3 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間を通して、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 2 の右遊技釘 5 8 2 との間、第 1 の右遊技釘 5 8 1 と第 3 の右遊技釘 5 8 3 との間、第 2 の右遊技釘 5 8 2 と第 4 の右遊技釘 5 8 4 との間のうちいずれかを通して構成される。これにより、第 1 ～ 第 4 の右遊技釘 5 8 1 ～ 5 8 4 の間を通る遊技球 B の動きに、より多くの変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

50

【 0 1 1 4 】

〔 遊技盤の変形例 〕

なお、上述の各実施形態に係る遊技盤において、遊技盤の前面より突出した突出面が形成されるようにしてもよい。そこで、図 2 4 ~ 図 2 5 を追加参照して、第 2 実施形態に係る遊技盤 5 0 0 に適用した場合の変形例について説明する。図 2 4 に示すように、遊技領域 P A 2 における右方の左側一般入賞装置 5 1 3 の上側周辺部で、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 を除いた部分に、突出面 6 0 2 を有する突出面構成部材 6 0 1 を取り付けることが可能である。すなわち、遊技領域 P A 2 における、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 のガイドによって遊技球 B が右方の左側一般入賞装置 5 1 3 に入賞可能な入賞可能経路を含む部分の領域に、突出面構成部材 6 0 1 を取り付けることが可能である。

10

【 0 1 1 5 】

突出面構成部材 6 0 1 は、図 2 4 ~ 図 2 5 に示すように、樹脂材料を用いて平板状に形成され、ネジ等の固定部材を用いて、遊技領域 P A 2 の前面より突出するように、ベース部材 5 0 1 の前面に重ねて取り付け固定される。突出面構成部材 6 0 1 の前面に、平面状の突出面 6 0 2 が形成される。また、突出面構成部材 6 0 1 の縁部全体に、突出面 6 0 2 から遊技領域 P A 2 の前面に向けて緩やかに傾斜する傾斜面 6 0 3 が形成される。この傾斜面 6 0 3 に沿って、遊技球 B が遊技領域 P A 2 の前面と突出面構成部材 6 0 1 の突出面 6 0 2 との間を滑らかに移動できるようになっている。

【 0 1 1 6 】

なお、突出面構成部材 6 0 1 の中央上部は、遊技領域 P A 2 における第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 に囲まれた部分の領域に配置される。突出面構成部材 6 0 1 の中央上部の左上端部は、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間の領域まで延びて配置される。突出面構成部材 6 0 1 の中央上部の右上端部は、第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間の領域まで延びて配置される。突出面構成部材 6 0 1 の中央上部左側は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間の領域を跨いで配置される。突出面構成部材 6 0 1 の中央上部右側は、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間の領域を跨いで配置される。

20

【 0 1 1 7 】

前述したように、ベース部材 5 0 1 における遊技領域 P A 2 の前面と、複層ガラス 5 a の後面との間には、図 2 5 (a) に示すように、遊技領域 P A 2 の前面において遊技球 B が落下可能な遊技空間 S 2 が形成される。一方、突出面構成部材 6 0 1 の前面に形成された突出面 6 0 2 と、複層ガラス 5 a の後面との間には、図 2 5 (b) に示すように、突出面構成部材 6 0 1 の分だけ遊技空間 S 2 よりも前後方向の幅が狭く、突出面構成部材 6 0 1 の突出面 6 0 2 において遊技球 B が落下可能な突出遊技空間 S 2 a が形成される。なお、遊技領域 P A 2 の前面から釘 1 1 1 の頭部 1 1 1 b (胴部 1 1 1 a との境界部) までの長さは、例えば 1 6 . 8 0 mm に設定される。また、突出面構成部材 6 0 1 の厚さは、例えば 5 . 0 0 mm に設定される。

30

【 0 1 1 8 】

遊技領域 P A 2 における第 2 上側連釘 5 6 2 と第 3 上側連釘 5 6 3 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間、もしくは第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通過する。このとき、遊技領域 P A 2 における第 2 上側連釘 5 6 2 と第 3 上側連釘 5 6 3 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間、もしくは第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間に到達するまで、遊技空間 S 2 を通過して落下することになる。

40

【 0 1 1 9 】

遊技領域 P A 2 における第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2 の左遊技釘 5 7 2 との間、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間のうちいずれかを通る。一方、遊技領域 P A 2 における第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通過して落下する遊技球 B は、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 2

50

の左遊技釘 5 7 2 との間、第 2 の左遊技釘 5 7 2 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間のうちいずれかを通る。このとき、第 3 の左遊技釘 5 7 3 と第 4 の左遊技釘 5 7 4 との間、もしくは第 4 の左遊技釘 5 7 4 と第 5 の左遊技釘 5 7 5 との間を通して落下する遊技球 B は、突出遊技空間 S 2 a を通って落下することになる。

【 0 1 2 0 】

釘 1 1 1 がベース部材 5 0 1 (遊技領域 P A 2) の前面に対して垂直よりも僅かに傾斜している場合、釘 1 1 1 の傾斜角度が同じ場合であっても、遊技球 B が遊技空間 S 2 を通って落下するときと、遊技球 B が突出遊技空間 S 2 a を通って落下するときとで、遊技球 B に対する 2 本の釘 1 1 1 同士の間隔が変化する。突出面構成部材 6 0 1 の有無に拘わらず、釘 1 1 1 がベース部材 5 0 1 の前面から延びているからである。例えば、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 とが互いに広く (狭く) なる方向に傾斜している場合、遊技球 B が第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間 (すなわち、突出遊技空間 S 2 a) を通って落下するとき、遊技領域 P A 2 の前面よりも第 1 の左遊技釘 5 7 1 および第 3 の左遊技釘 5 7 3 の先端側に近い突出面構成部材 6 0 1 の突出面 6 0 2 に沿って落下する。そのため、遊技球 B に対する第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔は、突出面構成部材 6 0 1 が取り付けられていない (すなわち、遊技球 B が遊技空間 S 2 を通って落下する) 場合よりも広く (狭く) なる。

【 0 1 2 1 】

ここで、遊技球 B に対する第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔の具体例について述べる。まず前提として、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔は、両方ともベース部材 5 0 1 (遊技領域 P A 2) の前面に対して垂直な場合に、12.00mm であるとする。また、ベース部材 5 0 1 (遊技領域 P A 2) の前面に対して垂直な方向 (法線方向) に対し、真上に傾斜する方向を時計の文字盤に例えて 12 時方向と定義する。また、突出面構成部材 6 0 1 の厚さが 5.00mm であるものとする。

【 0 1 2 2 】

そして、第 1 の左遊技釘 5 7 1 が 11 時方向に 4.00 度、第 3 の左遊技釘 5 7 3 が 12 時方向に 5.00 度だけ傾斜した場合、遊技領域 P A 2 の前面近傍における (すなわち、突出面構成部材 6 0 1 が取り付けられていない場合における) 第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔 D A 1 (図 25 (a) を参照) は、12.22mm となる。一方、突出面構成部材 6 0 1 の前面近傍における第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔 D A 2 (図 25 (b) を参照) は、12.43mm となる。これにより、第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 とが互いに広くなる方向に傾斜している場合、遊技球 B に対する第 1 の左遊技釘 5 7 1 と第 3 の左遊技釘 5 7 3 との間隔は、突出面構成部材 6 0 1 が取り付けられていない場合よりも広くなることがわかる。

【 0 1 2 3 】

このように、遊技領域 P A 2 における右方の左側一般入賞装置 5 1 3 の上側周辺部で、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 を除いた部分に、突出面構成部材 6 0 1 を取り付けようにすれば、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 をベース部材 5 0 1 (遊技領域 P A 2) の前面に対して垂直よりも僅かに傾斜するように設計するだけで、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 の間隔を効果的に変えることができる。そのため、各遊技釘間での遊技球 B の通り易さを異ならせることで、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 の間を通る遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

【 0 1 2 4 】

上述の変形例において、突出面構成部材 6 0 1 の前面に、平面状の突出面 6 0 2 が形成されているが、これに限られるものではない。例えば、図 25 (b) の二点鎖線で示すように、突出面構成部材 6 0 1 の突出面 6 0 2 に、凹面 6 0 6 もしくは凸面 6 0 7 が形成されてもよい。このようにすれば、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 の間を通る遊技球 B の動きにより複雑な変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊

10

20

30

40

50

技性をより高めることができる。

【 0 1 2 5 】

上述の変形例において、突出面構成部材 6 0 1 は、遊技領域 P A 2 における右方の左側一般入賞装置 5 1 3 の上側周辺部に取り付けられているが、これに限られるものではなく、例えば、遊技領域 P A 2 における右側一般入賞装置 5 1 7 の上側周辺部に取り付けられてもよい。また、突出面構成部材は、第 2 実施形態に係る遊技盤 5 0 0 に限らず、第 1 実施形態に係る遊技盤 1 0 0 の遊技領域 P A 1 の前面に取り付けられてもよい。

【 0 1 2 6 】

上述の変形例において、突出面構成部材 6 0 1 がベース部材 5 0 1 の前面に取り付けられているが、これに限られるものではない。例えば、ベース部材 5 0 1 の遊技領域 P A 2 の前面より突出する突出面部が、ベース部材 5 0 1 の前面側に一体的に形成されるようにしてもよい。

【 0 1 2 7 】

[変形例における特徴構成]

[突出面構成部材の特徴構成]

上述の変形例において、遊技領域 P A 2 における第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 と重ならない位置に、遊技盤 5 0 0 (ベース部材 5 0 1) の前面より突出する突出面構成部材 6 0 1 が設けられ、突出面構成部材 6 0 1 の前面 (突出面 6 0 2) と複層ガラス 5 a の後面とに挟まれた突出遊技空間 S 2 a 内を遊技球 B が落下可能に構成される。これにより、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 を遊技盤 5 0 0 (遊技領域 P A 2) の前面に対して垂直よりも僅かに傾斜するように設計するだけで、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 の間隔を効果的に変えることができる。そのため、各遊技釘間での遊技球 B の通り易さを異ならせることで、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 の間を通る遊技球 B の動きに変化を持たせることが可能になり、遊技球 B の動きを多様にして遊技性をより高めることができる。

【 0 1 2 8 】

また、突出面構成部材 6 0 1 の縁部に、突出面構成部材 6 0 1 の前面 (突出面 6 0 2) から遊技盤 5 0 0 (遊技領域 P A 2) の前面に向けて傾斜する傾斜面 6 0 3 が形成される。これにより、傾斜面 6 0 3 に沿って、遊技球 B が遊技盤 5 0 0 (遊技領域 P A 2) の前面と突出面構成部材 6 0 1 の前面 (突出面 6 0 2) との間を滑らかに移動することができる。

【 0 1 2 9 】

上述の第 2 実施形態において、上流釘 5 9 1 は、1 本の釘 (1 1 1) から構成されているが、これに限られるものではない。例えば、上流釘は、水平に対し左下方に傾斜する方向 (第 2 始動入賞装置 5 1 5 に向かう方向) に直線的に並ぶ複数本の釘 (1 1 1) から構成されてもよい。

【 0 1 3 0 】

上述の第 2 実施形態において、遊技領域 P A 2 における右方の左側一般入賞口 5 1 3 a の上方に、第 1 ~ 第 5 の左遊技釘 5 7 1 ~ 5 7 5 等が配置されているが、これに限られるものではない。例えば、第 1 実施形態に係る遊技盤 1 0 0 において、遊技領域 P A 1 における 3 つの左側一般入賞装置 1 1 3 , 1 1 3 , ... うち右方の左側一般入賞口 1 1 3 a の上方に、当該第 1 ~ 第 5 の左遊技釘等が配置されてもよい。

【 0 1 3 1 】

上述の第 2 実施形態において、遊技領域 P A 2 における右側一般入賞口 5 1 7 a の上方に、第 1 ~ 第 4 の右遊技釘 5 8 1 ~ 5 8 4 等が配置されているが、これに限られるものではない。例えば、第 1 実施形態に係る遊技盤 1 0 0 において、遊技領域 P A 1 における右側一般入賞装置 1 1 7 に形成された右側一般入賞口 (図示せず) の上方に、当該第 1 ~ 第 4 の右遊技釘等が配置されてもよい。

【 0 1 3 2 】

上述の各実施形態において、各連釘 (第 1 ~ 第 4 下側連釘 1 5 1 ~ 1 5 4 、第 1 ~ 第 4

10

20

30

40

50

上側連釘 1 6 1 ~ 1 6 4、第 1 ~ 第 2 下側連釘 5 5 1 ~ 5 5 2、第 1 ~ 第 3 上側連釘 5 6 1 ~ 5 6 3、下流側連釘 5 9 2) は、例示した本数に限らず、複数本の釘 (1 1 1) から構成されていけばよい。

【 0 1 3 3 】

上述の各実施形態において、本発明が適用される弾球遊技機の一例として、ぱちんこ遊技機を例示して説明したが、これに限定されるものではなく、例えば、アレンジボール、雀球遊技機などについても同様に適用し、同様の効果を得ることができる。

【 0 1 3 4 】

なお、上述の各実施形態に基づいて、前面側に遊技球を用いた遊技を行う遊技領域が設けられた弾球遊技機の遊技盤であって、前記遊技領域の左側に回転自在に設けられた風車と、前記遊技領域における前記風車の下方に設けられ、水平に対し右下方に傾斜する平面状の傾斜面を有し、前記遊技領域における前記風車の左方を通して落下する遊技球が前記傾斜面に沿って落下移動可能なガイド部材と、前記遊技領域における前記傾斜面の右下方に設けられ、水平に対し右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ複数の釘を有して構成され、前記傾斜面から右下方に落下する遊技球が当該複数の釘の上を落下移動するようにガイドする下側連釘と、前記遊技領域における前記下側連釘の上方かつ前記風車の下方に設けられ、水平に対し右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ複数の釘を有して構成され、前記遊技領域における前記風車の右方を通して落下する遊技球が当該複数の釘の上を落下移動するようにガイドする上側連釘とを備え、前記傾斜面の傾斜角度は、前記下側連釘が直線的に並ぶ方向の傾斜角度よりも緩い角度に設定され、前記傾斜面から右下方に落下する遊技球が、前記遊技領域における前記下側連釘と前記上側連釘との間を通して落下移動することができるように構成されることを特徴とする弾球遊技機の遊技盤が得られる。

【 0 1 3 5 】

上述の遊技盤において、前記上側連釘は、前記遊技領域における前記下側連釘の上方に略平行に設けられ、前記下側連釘と前記上側連釘との間隔は、遊技球の直径よりも大きく遊技球の直径の 2 倍よりも小さい間隔に設定される。

【 0 1 3 6 】

また、上述の各実施形態に基づいて、前面側に遊技球を用いた遊技を行う遊技領域が設けられた弾球遊技機の遊技盤であって、前記遊技領域に設けられ、遊技球が通過可能な入賞口を有する入賞装置と、前記遊技領域における前記入賞口の左側縁部の上方に配設された第 1 の遊技釘と、前記遊技領域における前記入賞口の右側縁部の上方に配設された第 2 の遊技釘と、前記遊技領域における前記第 1 の遊技釘の上方に配設された第 3 の遊技釘と、前記遊技領域における前記第 2 の遊技釘の上方に配設された第 4 の遊技釘とを備え、前記遊技領域における前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を遊技球が通ることが可能であり、前記第 3 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間を通して落下する遊技球は、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間、前記第 1 の遊技釘と前記第 3 の遊技釘との間、前記第 2 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間のうちいずれかを通して通るように構成され、前記第 1 の遊技釘と前記第 3 の遊技釘との間隔は、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間隔よりも小さい間隔であり、前記第 2 の遊技釘と前記第 4 の遊技釘との間隔は、前記第 1 の遊技釘と前記第 2 の遊技釘との間隔よりも小さい間隔であることを特徴とする弾球遊技機の遊技盤が得られる。

【 0 1 3 7 】

上述の遊技盤において、前記入賞装置が前記遊技領域の右側に設けられ、前記遊技領域における前記第 4 の遊技釘の上方に配設された上流釘と、前記遊技領域における前記第 3 の遊技釘の上方かつ前記上流釘の左下方に配設され、水平に対し左下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ複数の釘を有して構成され、遊技球が当該複数の釘の上を落下移動するようにガイドする下流側連釘と、前記遊技領域における前記上流釘と前記第 4 の遊技釘との間に配設され、遊技球が前記上流釘と前記第 4 の遊技釘との間を通るのを規制する規制釘とを備え、前記遊技領域における前記上流釘と前記下流側連釘との間を遊技球が通ることが可能であり、前記上流釘と前記下流側連釘との間を通して落下する遊技球は、前記規制釘

に当接して落下する向きを変えて前記第3の遊技釘と前記第4の遊技釘との間をってから、前記第1の遊技釘と前記第2の遊技釘との間、前記第1の遊技釘と前記第3の遊技釘との間、前記第2の遊技釘と前記第4の遊技釘との間のうちいずれかを通ることが可能となるように構成される。

【0138】

また、上述の各実施形態に基づいて、前面側に遊技球を用いた遊技を行う遊技領域が設けられた弾球遊技機の遊技盤であって、前記遊技領域の左側に設けられた遊技球が通過可能な入賞口を有する入賞装置と、前記遊技領域における前記入賞口の左側縁部の上方に配設された第1の遊技釘と、前記遊技領域における前記入賞口の右側縁部の上方に配設された第2の遊技釘と、前記遊技領域における前記第1の遊技釘の左上方に配設された第3の遊技釘と、前記遊技領域における前記第1の遊技釘の右上方かつ前記第2の遊技釘の左上方に配設された第4の遊技釘と、前記遊技領域における前記第2の遊技釘の右上方に配設された第5の遊技釘と、前記遊技領域における前記第3の遊技釘の上方に配設され、水平に対し右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ複数の釘を有して構成され、遊技球が当該複数の釘の上を落下移動するようにガイドする上流側連釘と、前記遊技領域における前記第5の遊技釘の上方かつ前記上流側連釘の右下方に配設され、水平に対し右下方に傾斜する方向に直線的に並ぶ複数の釘を有して構成され、遊技球が当該複数の釘の上を落下移動するようにガイドする下流側連釘とを備え、前記遊技領域における前記上流側連釘と前記下流側連釘との間を遊技球が通ることが可能であり、前記上流側連釘と前記下流側連釘との間をって落下する遊技球は、前記第3の遊技釘と前記第4の遊技釘との間、もしくは前記第4の遊技釘と前記第5の遊技釘との間を通り、前記第3の遊技釘と前記第4の遊技釘との間、もしくは前記第4の遊技釘と前記第5の遊技釘との間をって落下する遊技球は、前記第1の遊技釘と前記第2の遊技釘との間、前記第1の遊技釘と前記第3の遊技釘との間、前記第2の遊技釘と前記第5の遊技釘との間のうちいずれかを通るように構成され、前記第3の遊技釘と前記第4の遊技釘との間、もしくは前記第4の遊技釘と前記第5の遊技釘との間をって落下する遊技球は、前記第1の遊技釘、前記第2の遊技釘、前記第3の遊技釘、前記第4の遊技釘、および前記第5の遊技釘のうち少なくともいずれかに当接して落下する向きを変えることにより、前記第1の遊技釘と前記第2の遊技釘との間を通ることが可能であり、前記上流側連釘と前記下流側連釘との間隔は、遊技球の直径よりも大きくて、遊技球の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔であり、前記第1の遊技釘と前記第2の遊技釘との間隔は、遊技球の直径よりも大きい間隔であり、前記第3の遊技釘と前記第4の遊技釘との間隔は、前記第1の遊技釘と前記第2の遊技釘との間隔よりも大きい間隔であり、前記第4の遊技釘と前記第5の遊技釘との間隔は、前記第3の遊技釘と前記第4の遊技釘との間隔よりも大きくて、遊技球の直径に半径を加えた長さよりも小さい間隔であることを特徴とする弾球遊技機の遊技盤が得られる。

【0139】

また、上述の各実施形態に基づいて、前面側に遊技球を用いた遊技を行うための入賞装置および複数の遊技釘を設けた遊技領域を有する遊技盤と、前記遊技領域が前方を向くように前記遊技盤を保持する枠部材と、前記枠部材に保持された前記遊技盤の前方を所定間隔を置いて覆って前記枠部材に取り付けられ、前方から前記遊技領域を視認可能な板状の視認部材とを備え、前記遊技盤の前記遊技領域の前面において前記視認部材の後面との間に形成される遊技空間内を、前記遊技釘の案内の下で遊技球を落下移動させて前記入賞装置へ入賞させる遊技を行うようになっており、前記遊技釘は、前記遊技盤の前面から前記遊技空間内に突出して前記視認部材の後面近傍まで延びて設けられ、前記遊技領域における前記遊技釘と重ならない位置に、前記遊技盤の前面より突出する突出面部が設けられており、前記突出面部の前面と前記視認部材の後面とに挟まれた突出遊技空間内を遊技球が落下可能に構成されたことを特徴とする弾球遊技機が得られる。

【符号の説明】

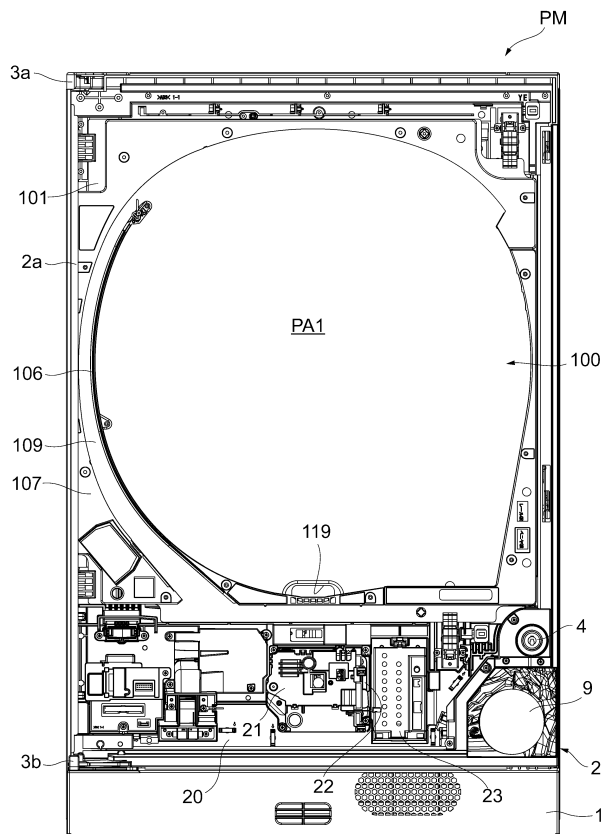
【0140】

P M ぱちんこ遊技機（弾球遊技機）

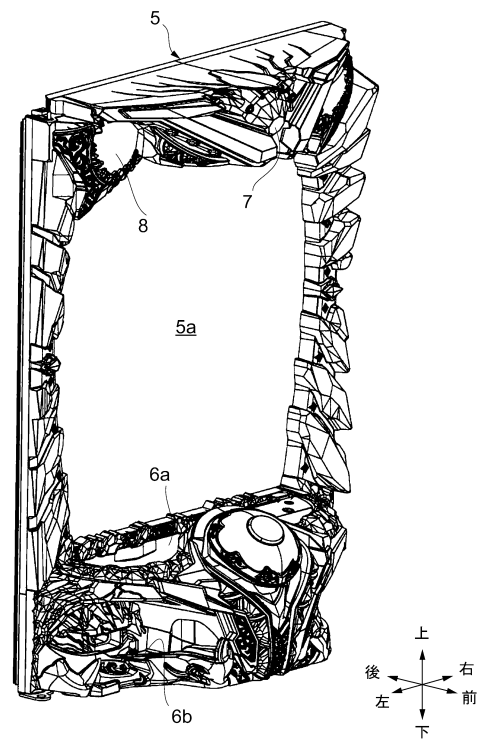
P A 1	遊技領域（第 1 実施形態）	
P A 2	遊技領域（第 2 実施形態）	
1	外枠	
2	前枠（枠部材）	
5	ガラス枠（5 a 複層ガラス（視認部材））	
1 0 0	遊技盤（第 1 実施形態）	
1 1 1	釘（1 1 1 a 胴部、1 1 1 b 頭部）	
1 1 2	風車	
1 1 3	左側一般入賞装置（1 1 3 a 左側一般入賞口）	
1 1 4	第 1 始動入賞装置（1 1 4 a 第 1 始動入賞口）	10
1 1 5	第 2 始動入賞装置	
1 1 6	大入賞装置	
1 1 7	右側一般入賞装置	
1 1 8	補助遊技始動ゲート	
1 5 1	第 1 下側連釘	
1 5 2	第 2 下側連釘	
1 5 3	第 3 下側連釘	
1 5 4	第 4 下側連釘	
1 6 1	第 1 上側連釘	
1 6 2	第 2 上側連釘	20
1 6 3	第 3 上側連釘	
1 6 4	第 4 上側連釘	
2 0 0	センター飾り	
3 0 0	第 1 入賞ユニット	
3 0 1	ガイド部材	
3 0 2	傾斜面	
5 0 0	遊技盤（第 2 実施形態）	
5 1 3	左側一般入賞装置（5 1 3 a 左側一般入賞口）	
5 1 4	第 1 始動入賞装置	
5 1 5	第 2 始動入賞装置（5 1 5 a 第 2 始動入賞口、5 1 5 w 羽根部材）	30
5 1 6	大入賞装置	
5 1 7	右側一般入賞装置（5 1 7 a 右側一般入賞口）	
5 1 8	補助遊技始動ゲート	
5 2 0	センター飾り	
5 2 6	ガイド部材	
5 2 7	傾斜面	
5 5 1	第 1 下側連釘	
5 5 2	第 2 下側連釘	
5 6 1	第 1 上側連釘	
5 6 2	第 2 上側連釘（上流側連釘）	40
5 6 3	第 3 上側連釘（下流側連釘）	
5 7 1	第 1 の左遊技釘	
5 7 2	第 2 の左遊技釘	
5 7 3	第 3 の左遊技釘	
5 7 4	第 4 の左遊技釘	
5 7 5	第 5 の左遊技釘	
5 7 6	緩衝釘	
5 8 1	第 1 の右遊技釘	
5 8 2	第 2 の右遊技釘	
5 8 3	第 3 の右遊技釘	50

- 5 8 4 第 4 の右遊技釘
- 5 8 5 規制釘
- 5 9 1 上流釘
- 5 9 2 下流側連釘
- 6 0 1 突出面構成部材（突出面部）
- 6 0 2 突出面
- 6 0 3 傾斜面

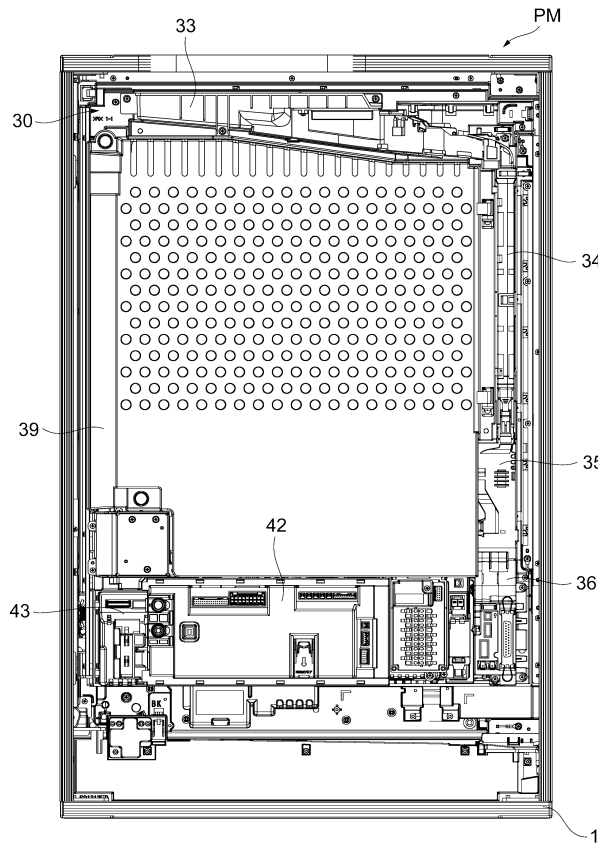
【図 1】



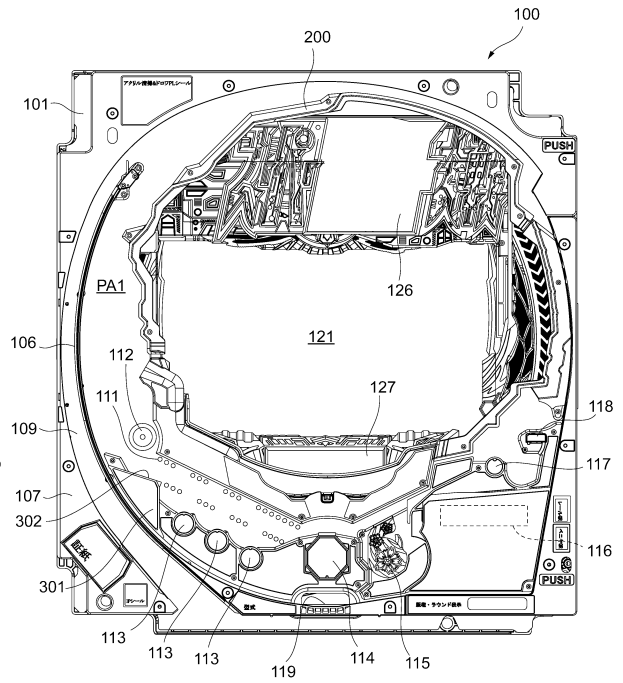
【図 2】



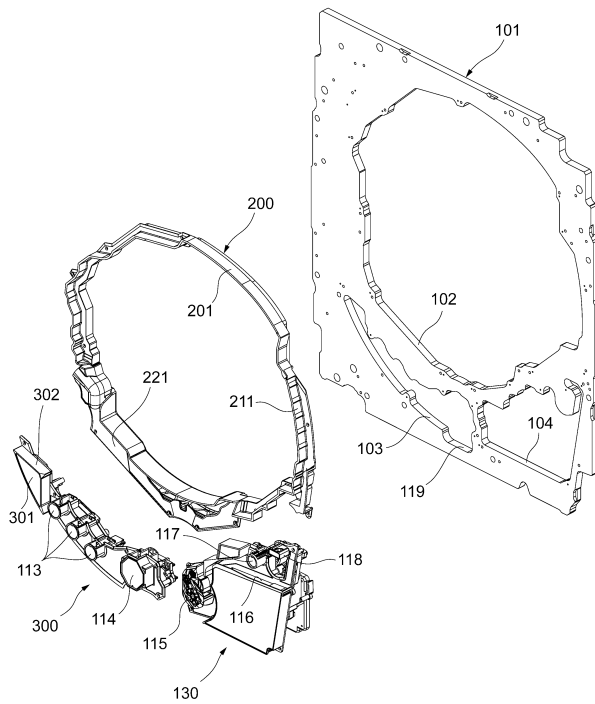
【図 3】



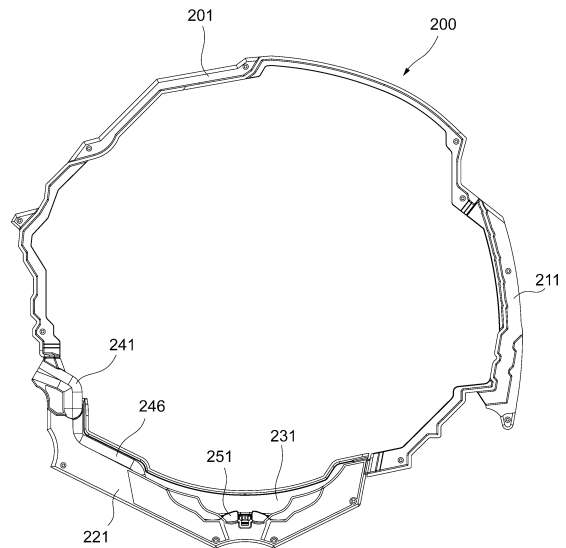
【図 4】



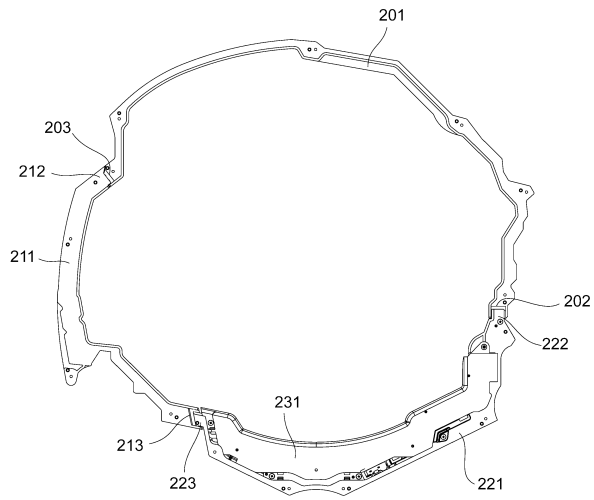
【図 5】



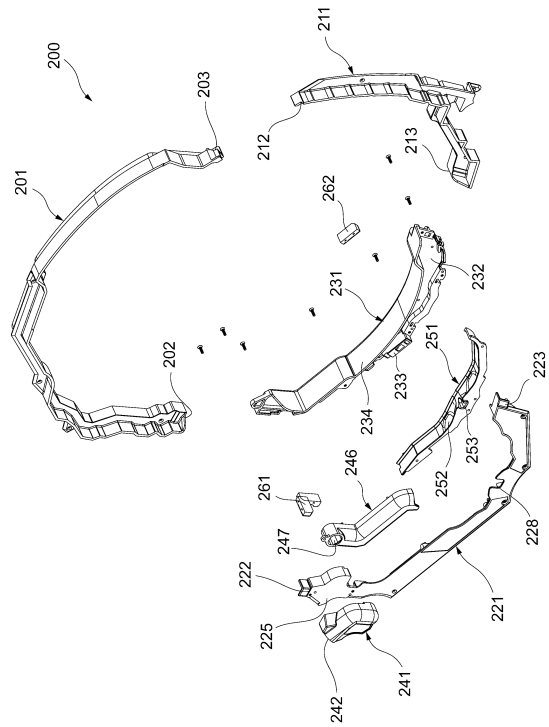
【図 6】



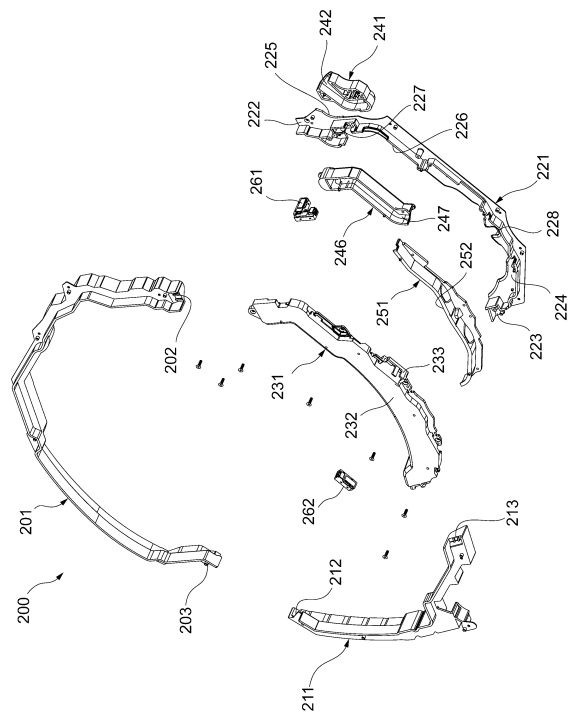
【図 7】



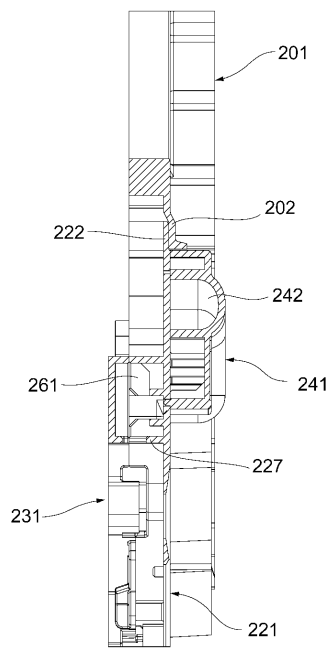
【図 8】



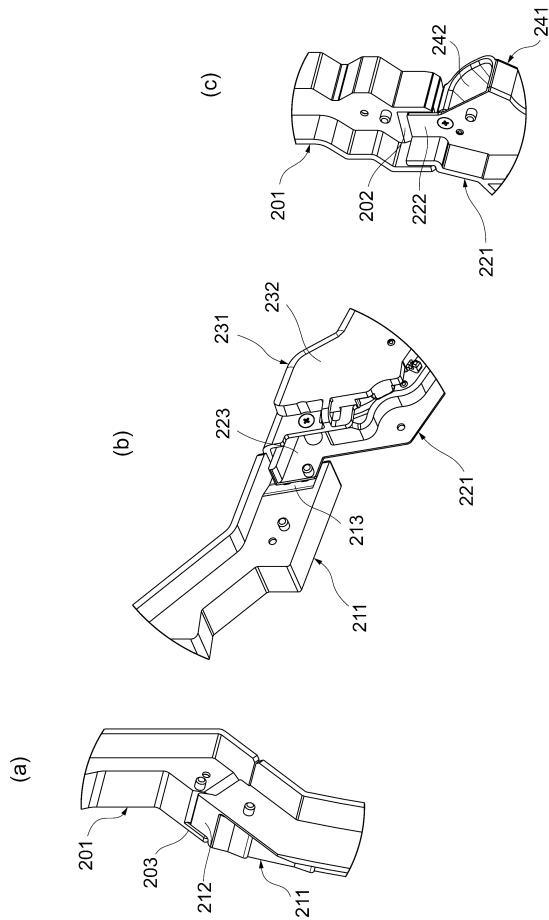
【図 9】



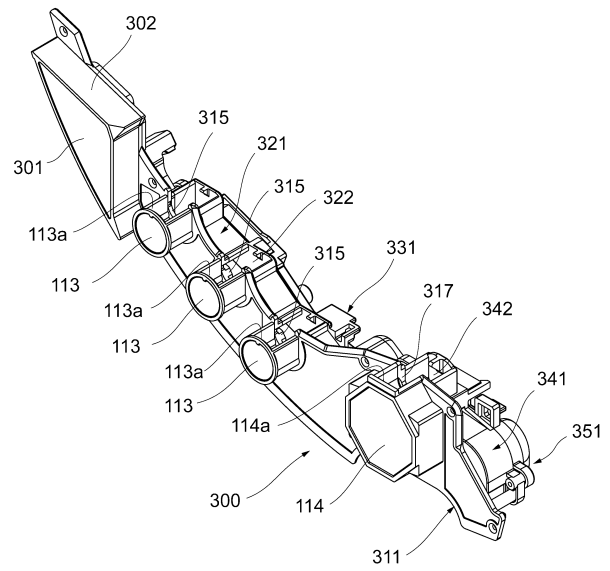
【図 10】



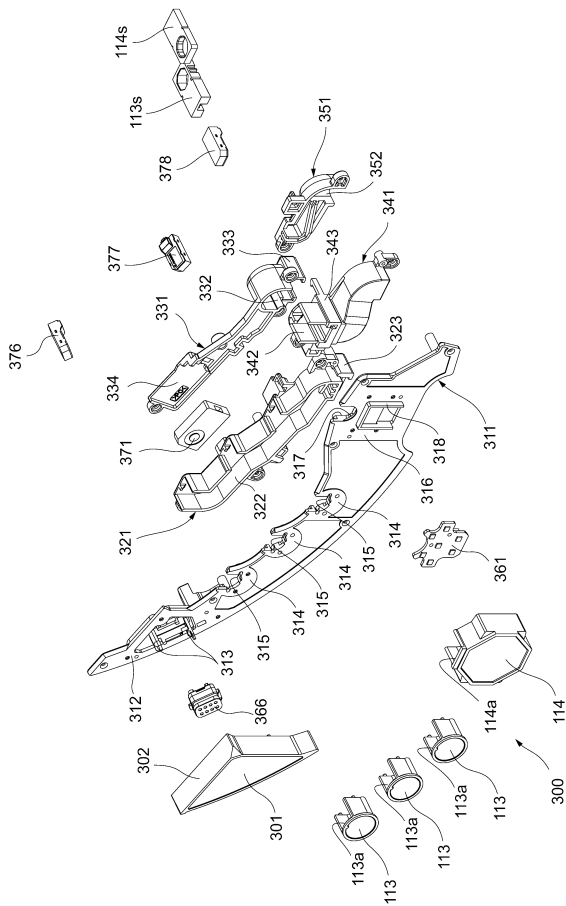
【図 1 1】



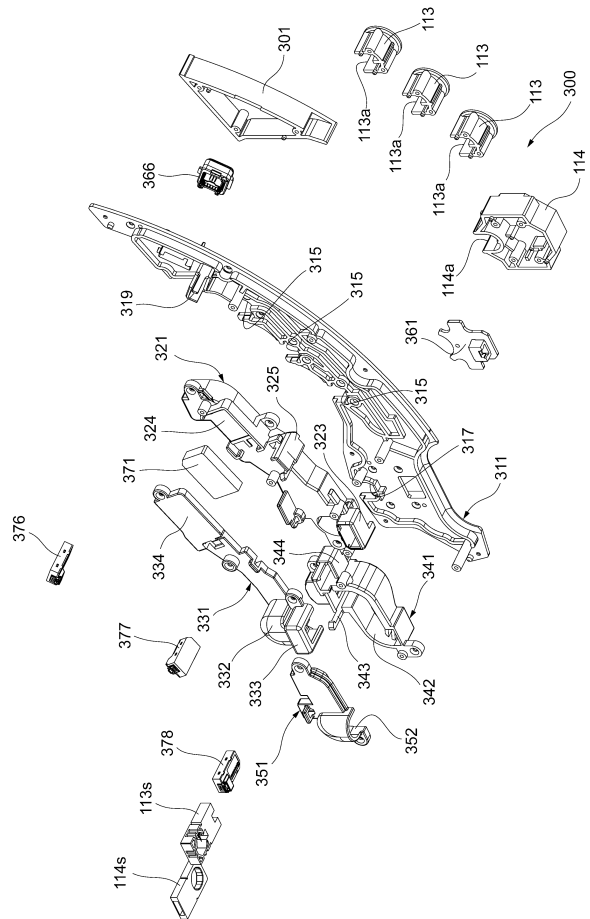
【図 1 2】



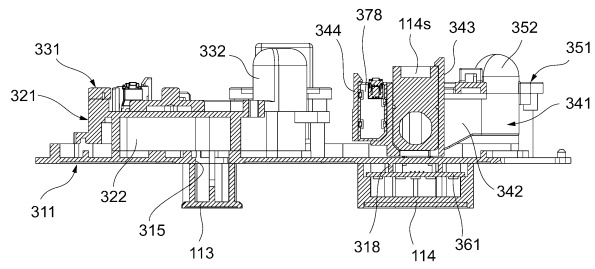
【図 1 3】



【図 1 4】

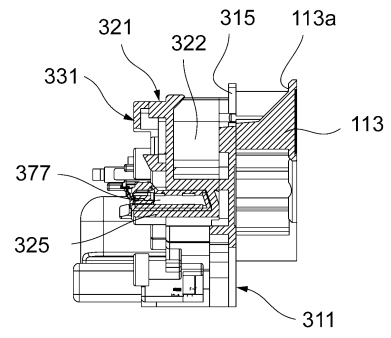


【図 15】

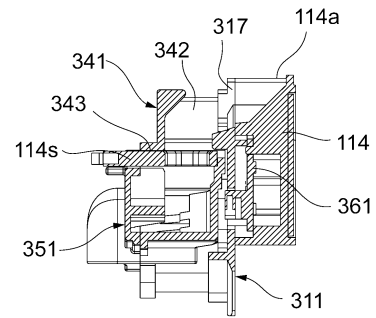


【図 16】

(a)



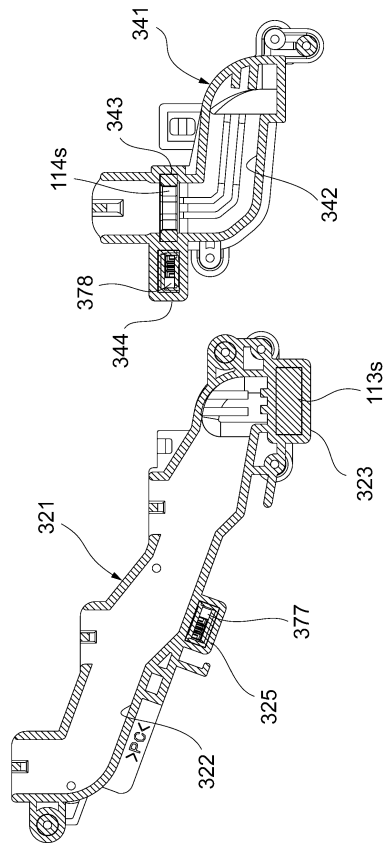
(b)



【図 17】

(b)

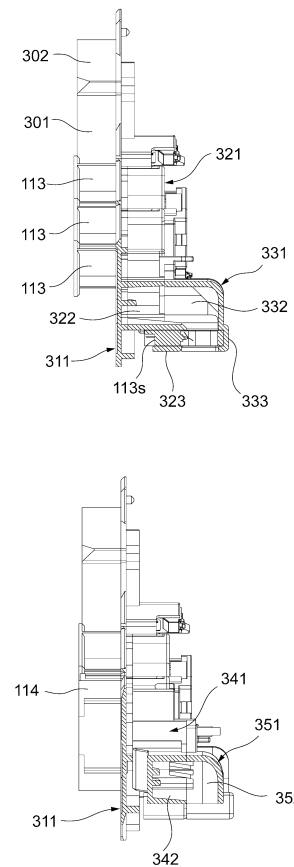
(a)



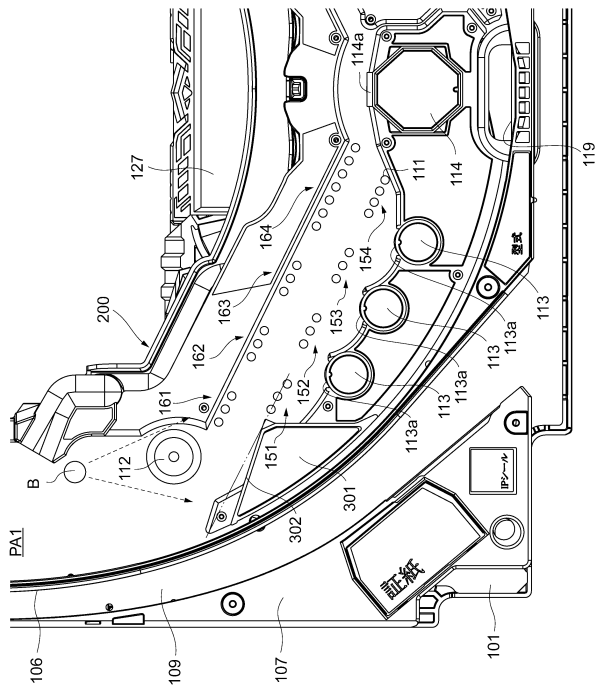
【図 18】

(a)

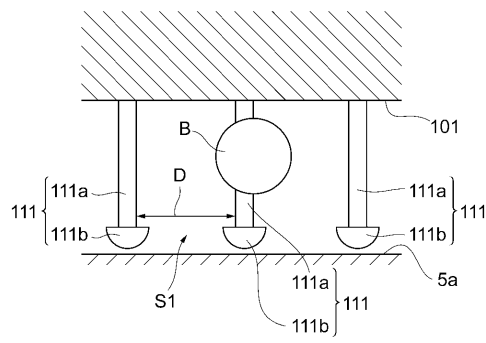
(b)



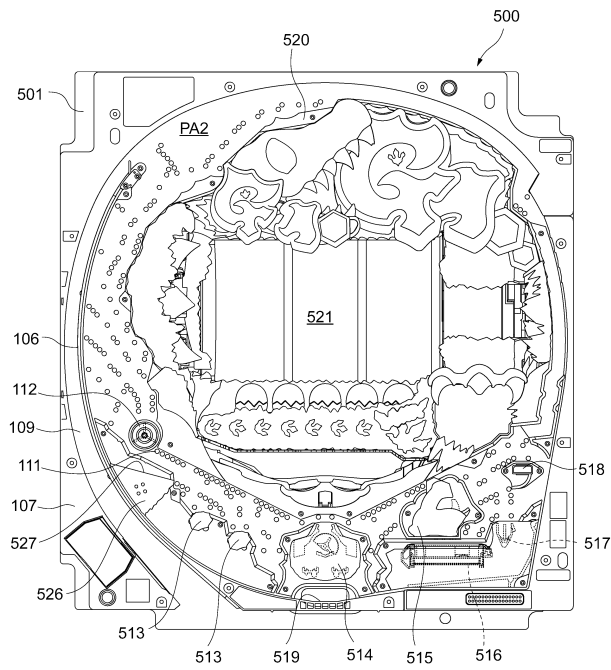
【図 19】



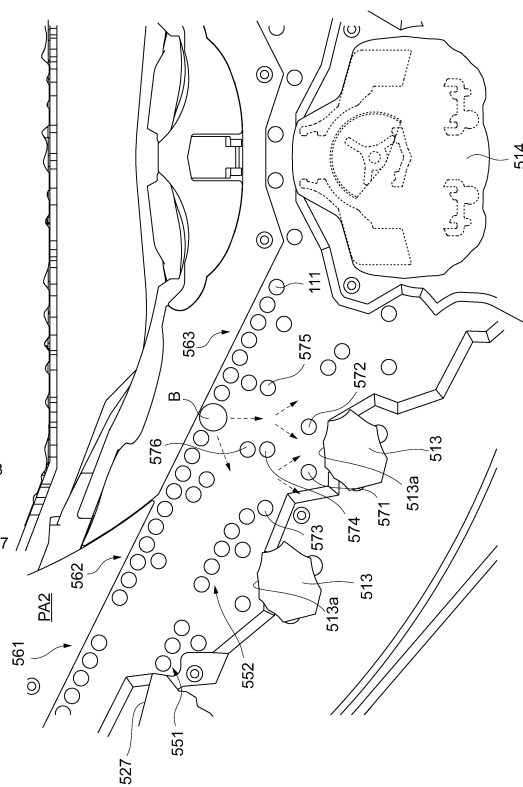
【図 20】



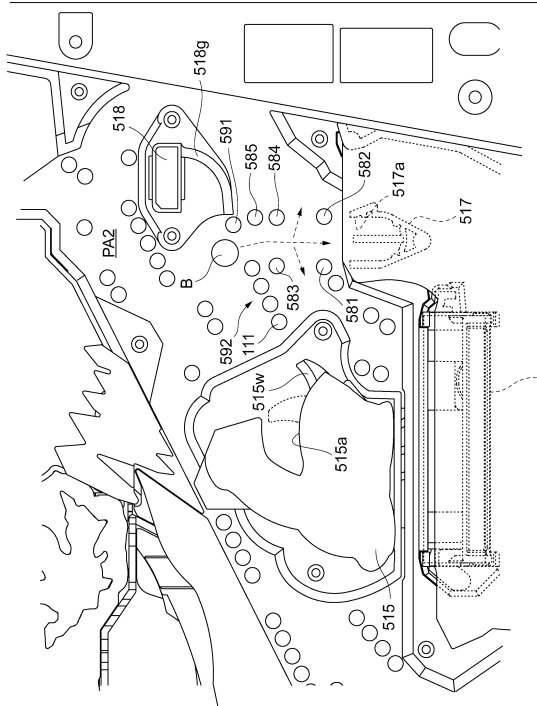
【図 21】



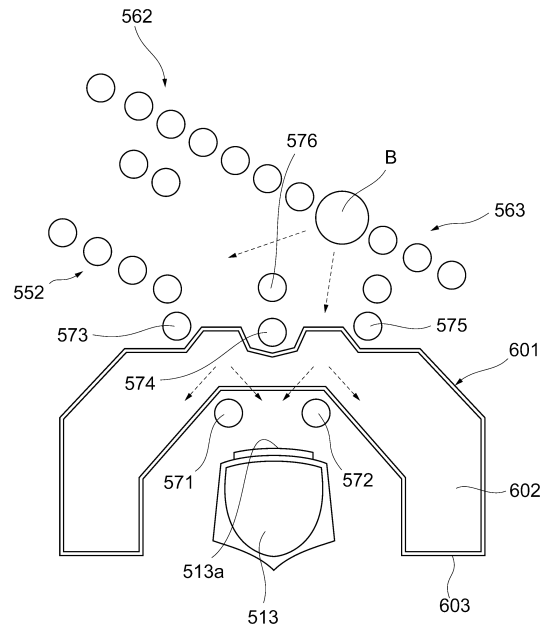
【図 22】



【図 2 3】

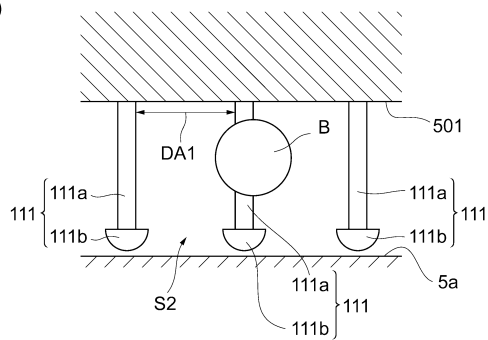


【図 2 4】

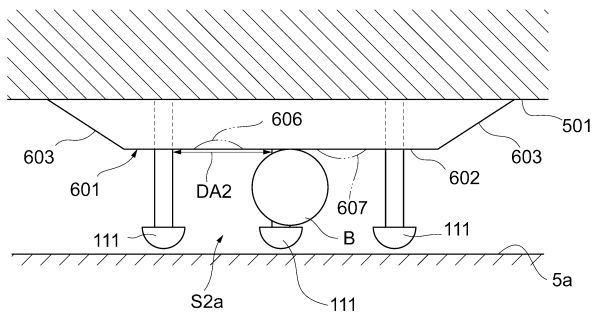


【図 2 5】

(a)



(b)



フロントページの続き

- (72)発明者 小野 博司
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60 サミー株式会社内
- (72)発明者 田中 崇二郎
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60 サミー株式会社内
- (72)発明者 工藤 朗
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60 サミー株式会社内
- (72)発明者 吉崎 聡
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60 サミー株式会社内
- (72)発明者 波入 和知
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60 サミー株式会社内
- (72)発明者 江藤 光輝
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60 サミー株式会社内
- (72)発明者 三宅 重夫
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60 サミー株式会社内

審査官 堀 圭史

- (56)参考文献 特開2014-221331(JP,A)
特開2007-260133(JP,A)
特開2013-056039(JP,A)
「スーパーロボット対戦OG」,パチンコ必勝本CLIMAX2016年5月号,株式会社総合図書
,2016年5月1日,p.18,左上の写真を参照

- (58)調査した分野(Int.Cl.,DB名)
A63F 7/02